京城日報

八月十六日夕刊（朝夕併せて八頁）

◇獨墺兵力配置

西伯利獨墺俘虜の中心地はチタにて同市の主權は獨墺人の手に歸し露兵器工廠職工は殆ど全部獨墺人なり其擧るところなれり兵力は烏蘇里方面一萬七千北滿國境方面六千イルクツク七千チタ附近一萬三千にて武裝獨墺軍を主體とし赤衛軍を混じ又多數武裝せざる獨墺兵各地にあり（浦鹽電報）

◇獨逸御前會議

露國の形勢に關し協議す

ストラッスブルグ一ポスト紙に據れば獨帝は大本營に御前會議を召集しフエリツヒ、ヒンツエ、ヒンデンブルク、ムリネンドルフ將軍等出席せるが會議の目的は發明されざれど西部戰線に於る聯合軍の前進、露國の形勢に關し協議されたるが如く尚其際或重要事項の決定を見たる筈なり（巴里電報）

◇敵軍損害退却

十二日バーシング將軍公報＝ヴエール河に沿ひ敵はフイフメス附近に數度の攻撃を行ひたるが其の結果敵は甚大の損害を負うて擊退したり（巴里電報）

◇馮辭職通電要旨

馮大總統は此程各省に對し辭職の旨を通電したるが其の要旨左の如し（北京特電）

一年以來大總統の職權を代行せるは約法の規定餘儀なきに出で一毫も私己の私念無し約法の精神は中華民國の統一と平和にあり而も賢能の閑職と忠勇の同胞あるに拘らず一年以來の治績を顧みれば一として擧觀を許さず是一に予の不德の致す處なり今や代行の期將に充んとして新國會成る冀くば各議員が資望兼備の人を擧げ統一を圖り平和を現し約法の精神に副はん事を、若し予を目して國法を犯して其位に戀々し選擧競爭を爲すものと疑はば是れ實に意外の流言なり但し國の存立は匹夫も亦責あり國璋野にありとも統一平和の目的を達せん爲には當に公民の一分子の義務を盡すを辭せざるなり（北京特電）

◇米强買緊急勅令案決定

十五日午前十時より首相官邸に於て臨時閣議を開き各大臣全部出席、岡田警視總監、永田警保局長、岡商工局長、片山外米管理部長、馬場法制局參事官等參集米價暴騰善後策を協議の後米强制買收に關する緊急勅令案を決定し午後一時散會せり（東京特電）

◇米暴動記事揭載禁止

内相の諭達

水野内相は十四日午後九時都下各新聞社、通信社代表者を内務省に招き米騷動に關する一切の記事を禁止する旨を告げ各地の暴動が遂に帝都に迄波及せるを遺憾とし且つ曰く斯の如き事件は不知不識の間に無辜の良民に傳染し良民にして遂に縲紲の禍を買ふもの尠からず當局としては之れに臨むに最も温情を以てするも秩序維持の上に於て已むを得ざる手段に出でざるべからず思ふに新聞の記事は社論に報道に固より其任務とする處を社會に發表するにあるを以て其言論を壓迫し報道を阻碍するが如きは當局として最も遺憾とするところなるも各地暴動の狀況手に取る如く報道され或は寫眞に或は標題の大活字使用等に依り社會人心を煽る事幾干なるかを思へば當分の間目を閉ぢて其の取締りに任ずるの已むを得ざるところなり故を以て十五日以後米暴動に關する一切の記事の揭載を禁じ又社論に於ても各地の暴動に就き特に事件の實質を細かく列記する事を差止むる事とせり若し違背する者ある時は已むを得ず發賣頒布禁止處分に出づ可し當局の此の措置は全く已むを得ざるに出づ諸君に於ても今後此の暴動の傳播の眞に憂ふ可きもののあるを想ひ當局の意のある處を諒とせられん事を望む（東京特電）

東京だより

軍司令部の出發

八月十二日午後五時　東京支局にて　白鐵

▼唯今、東京驛頭萬歲聲裡に蒸蒸せられたる記者は、歸來、流汗拭きも敢ず、此日の感慨を記念す可く茲に禿筆を呵せんとす

▼此日、浦鹽派遣軍司令部一行の行を壯にせんとて東京驛頭に八重垣を築きたる數千の群集は、大谷、由比、武内、稻垣各將星の入るに從つて盛んに萬歲の聲を浴びせ與奮の氣場内に滿つ

▼歩哨は言ふまでもなく劍光射影の波也。その波頭を泳いで井上元帥來り、上原參謀總長來り、島村軍令部長來り、上田、仁田原、井口、長岡諸將軍來る、カーキ色の一團の中にフロックコートの一團を見るは司令部に隨伴する松平外務參事官、木村外務書記官の一行なり、而して後藤外相の白髯其の中に在り

▼發車前五分、展望車を後にせる大谷將軍の前に寺内首相は莞爾として立てり、大谷將軍の嵯峨たる眼光と緊迫せる唇頭とに對して、首相は滿面の笑を湛へて其長久なるべき武運の前途を祝福せり何等の對照ぞや、新聞社の寫眞班は何條此の好活畫を看過す可き忽ちマグネシヤの包圍攻撃は開始され、首相の面上紛擾の下るもの霏々、しかも首相は呵々、滿足の笑を漏らして群集の中に姿を沒しぬ。また以て、首相の健康舊に倍するものあるを知るに足る乎。

▼かくて、定刻午後三時卅五分萬歲の聲は更に萬歲の聲を生んで展望車上の司令部は、湧る、如き感激の歡呼の中に、日本の國運の開展に寄與す可き使命を孕んで、壯烈なる征途に就けり

▼此日、陸軍省は浦鹽に我が先發部隊及び派遣師團司令部、旅團司令部の上陸を了せるを發表す、而して今、軍司令部の出發あり、斯くの如くして、浦鹽を中心として局面は漸次開展の緒に就けるに際し、他方朔北の部隊また別に新しき部署に就く可く策動を開始したるあり、軍國的雰圍氣の漸次濃密を加ふるを感ず

▼若し夫れ、西伯利に於ける日米、英、佛、伊、支、チエック各國の聯合軍の區署既定まり、我大谷將軍の下に協力行動するの期に入らば極東の天地、自ら別個の面目を現じ來るものあらんとす。

◎殖産銀行重役

候補者内定す

十月一日より開業すべき朝鮮殖産銀行の重役は世上種々の取沙汰ありしも聞く所によれば候補者左の如く内定せり

頭取　鮮銀理事　三島太郎
理事　理財課長　有賀光豊
同　鮮銀局長　中村光吉
同　仁川稅關長　櫻井小一
同　侯爵　朴泳孝

にして三島氏は鮮銀理事を兼ぬべく朴泳孝侯は曾て韓相龍氏が東拓理事たりし如く常務を執らず重要事務に參與するものなる如し又頭取以下各理事の持株も既に決定し居れり尚ほ理事に拔かるべしとの說ありし漢城農銀支配人遠山熈氏は諸種の關係より九月中に退職し或は某銀行に入る事となるべし

▲重役の人選　殖銀重役候補者の内定に就き某有力者は曰く三島氏の頭取は銀行家として氏の手腕と見識の卓越せる事は定評ある新銀行の頭取として此人以上の適任を求むる事は先づ困難ならん中村光吉氏は三十五年の大學出身にして銀行家として終始せる人創設的才幹に於て進取的の手腕に於て銀行界の評判明たり恐らく營業方面を主として統督するならん有賀氏は朝鮮三等官の次位にあり半島金融行政の當面の人として又頭腦の緻密を以て聞ゆ櫻井氏は三十八年の大學出身人物溫籍明晰の頭腦と實務的手腕秀で朴泳孝侯は名望を以て鮮人間に推さる、人理事の人選は當を得居れりと稱して可なり

◎朝鮮米賣出に就て

片山外米管理部長談

政府が今回朝鮮米を内地市場に放資するに至つたのは目下米價暴騰に際し取敢ず先づ大消費區域たる都市の需給狀態を調節せんが爲めであつて則ち鈴木商店をして一日大阪にて二千石東京にて二千石といふ割合を以て兩市場にて三十日間、即ち十二萬石を賣らしめる計畫であつたことは既に世の知る所である。十二萬石と限定した理由に就ては需要供給の關係の變化を慮る上からして、一先づ十二萬石と制限したので、もとより十二萬石を以て必ず足れりとしたのではない元來朝鮮には此十二萬石を

▲買占める當時　は凡そ四十萬石の米があつたので、今回十二萬石内地へ移入した結果猶ほ約廿八萬石の殘餘が朝鮮にはある筈であるが、此の殘餘の朝鮮米は自然に政府の力に據らず商人の手によりて内地へ移入されることに委してあるのである。政府に於ては此朝鮮米を市場に出すに就ては目下の時局に鑑み損失を見てまでも廉價に供給したいのは山々であるが、それでは廣く朝鮮米の聲價に影響を及ぼすことになり且つ内地の商人としても損をしてまでも朝鮮米を内地へ移入するやうな事は差控へることになるだらうと思つたので、先般來の賣價則ち石三十七圓で賣出したが此等の標準は時價を參酌して割出したもので、三十七圓といふのは勿論今日迄の

▲時價であつた　のである。而も之れによりて政府が其間に利益を貪るやうな疑ひを招くに至つたことは寔に當局としても心外としまた遺憾に堪へぬ次第である。又此等時價の關係からして十二日午後九時には、東京大阪兩市場に於て打合せの結果卅七錢の所を卅五錢に賣り出すことに決定し十三日よりは右の値段を以て賣り出してゐるのである。斯の如く賣出し値段の眼目は時價と隔てなくやり度いといふことゝ、又値段に人爲的の影響を生ぜざらしめんとするにあるので、これも元來朝鮮米の聲價を人爲的に落すことなくして現在朝鮮に餘つてゐる二十八萬石の米を自然に

▲内地へ移入し得る　やうにしたいといふ趣意から來たことなのである。これは一は内地の需給關係を調節し一は朝鮮米の聲價を認識せしむるに適當の處置と信ずる。因みに外米放資に際しては元來此れが慈善的の性質のものでないにも拘らず、政府は時價よりも非常に安くして賣り出してゐるのであるが、此れといふのも兎も角外米の需要を喚起し需給調節の一助とすべく政府は損害を顧みず犧牲を拂つて努力してゐるのである。然らば朝鮮米も斯の如く人爲的に安く賣り出したならば好いかといふに、朝鮮米は安くせずとも需要はあるし且つ只今前に述べたが如き原因からして然うは出來ないのである云々（東京支局）

◎食料問題と朝鮮

朝鮮の開拓策＝米價調節問題

京都帝國大學教授　河田嗣郎氏談

新進の經濟學者として聞えたる京大教授河田嗣郎氏を朝鮮ホテルに訪ひその談を聞く

▲米の需給調査　予の今回の旅行の用向は米に關する調査のためで朝鮮、滿洲、支那本土を經て佛領印度方面に出たい豫定である、米と云つても目先の需給狀態を視察しやうと云ふのでなく將來日本の食料品として最も重要な米の需給は現狀を以て推移せば如何になるか、又如何にせざれば吾が食料品問題の解決は容易につかぬものであるかと云ふ樣な點を小觀したいのである、乃で朝鮮も米産地並に米の集散地として有名な群山全州大邱方面を一巡して入京した、京城數泊後都合で黃海道の平野を實見し平壤を訪ひ更に滿洲に入りたいと思つてゐる

▲食糧問題と朝鮮　南鮮平野の一部を飛脚的に歩いて先づ感ずるのは朝鮮米産の前途に尙ほ大なる餘裕があり我國食料米の問題を議するに朝鮮は非常に有力な地位にあると云ふ事である、予の各方面に就て聞き又自分の視た所を綜合するに朝鮮の米作は水利施設の普及と干潟地並に未墾地の開拓と金肥の施與と更に耕作法の改良により現在の二倍に乃す現在年額の米收一千二百萬石とすれば之れを二千四五百萬石にするのは決して難事であるまいと信ずる内地は開かるべき土地は概ね拓き盡され耕作も集約的になつてゐて今後その米産の增加を圖る事は先づ困難と云はねばならぬ、然も年々の人口增加はその消費を著るしく增進し結局食料米の不足は今後年と共に殖ゑて行くのであるから、朝鮮産米を大いに增收する方法を講じその内地移出米を殖やし、母國食料米の不足を朝鮮より補ひ得るやう當局も民間有力者も常に心して欲しいものである、

▲内地資本の注入　予は朝鮮は初見參である、然しすべての方面に於て豫想外の進捗を見てゐる、朝鮮に於ける總督政治は大體に於て成功しつゝありと稱してよからう、唯何處を見ても尙ほ未だ資金を投じて施設せねばならぬ事業が甚だ多い、前述の水利の如き國家の力で大規模に進めて行つたらその功果は瞠目に値すると思ふが、それには巨費を要するから俄に望み難いのであらう、コハ一例だがかう云ふ點から見ると朝鮮財政の獨立を急いだのは多少議論の餘地も見出せるやうだ尙ほ多くの資金を母國より注ぎ込みその開拓を進めて而して獨立するのも遲くなかつたのである唯現今の朝鮮財政獨立計畫の策定は時局が斯く進展しない大正一二年頃内地財界不振の際だつたと思ふから事情止むを得なかつたであらう、遮莫一度計畫が確立した以上當局としてはその實行に向つて步を進め多少の增稅並に新稅徵收の方途に出るのは止むを得まい、その總りに東洋拓殖會社の如き今回設立されんとする殖産銀行の如きを通じ内地の豐富な資金をドシ〳〵朝鮮に注入し水利灌漑の施設諸工業の振興、鑛業の發展その他の進展を企圖するのは正に必要事であらねばならぬ、内地で勸業銀行と農銀合併論の唱道さる、今日朝鮮では夙くもその農銀の統一を實行られたのは予等も賛意を表するに躊躇せず、漢京中殖銀の使命等に就ては詳細調査したいと思ふ

▲米價調節問題　政府の今回執れる米價昂騰の救濟策は一種の米穀管理であつて豈にその効果は顯著なものがあらう、唯政府が今回發表した程徹底的な方策を執り得るのならば何故今少し早くその措置に出でなかつた乎、然し爲さざるに勝るや萬々である近來の米相場は全く需給關係を離れてある、何故ならば昨年の米收は先づ平年作であつて今年の消費が下級者の所得增等により幾干か增加せりと云つても正米四十四五圓を唱ふることは全く人爲相場であると云はざるべからず唯出穀季までの食ひ繫ぎ用として内地の在米は十二分であると云ふ事は云へず、或は幾分手薄であるかも知れぬ、然し乍ら最近の相場は餘りに暴騰に過ぎて居る、予等は諸物價の騰貴が普通戰前の十割增になつてゐるやうだから、鐵とか染料とか云ふ特殊の事情を含まぬ米も亦此の諸品と相前後し、戰前の相場石十五圓と見、今日内地で三十圓位ならば妥當の値頃だらうと思ふ、政府の今回行はんとする强制買收も此の邊に目標を置く事になりはせぬか

▲通貨縮少論　米價に限らず諸物價の昂騰を抑壓するため通貨の縮少を急務とするこの論も内地に盛んに行はれてゐる、然し財界が膨脹して來れば通貨の需要が殖ゑる、通貨の增大は物價の昂騰を促し、物價の昂騰は通貨の膨脹をさすと云ふ風に何れが因何れが果を斷じ兼ぬるのである又此際通貨の大收縮を政府が斷行する事となれば財界の不振招來は著るしきものあるべくその禍害は測り知るべからず、大局より見て予等は通貨縮少策に同じ難い、

◎東市議員日程

東京市會議員視察團一行は十五日午前内にて總督府を訪問し後倉橋事務官の案内にて總督府醫院中央試驗所を視察しパコダ公園にて總督より午餐の饗應を受け午後は龍山に赴き模範場支場を視察せるが出發を一日延期し十六日は午前十時迄自由行動を執り其間に京城府廳及び商業會議所を訪問し十時吉德宮に集合し秘苑を拜觀一旦旅館巴城館に歸り午後は新龍山より鷺梁津に至り仁川水源地を視察すべき筈なるも風雨の際とて都合に依り變更し十七日は午前中景福宮博物館を視午後仁川に赴き十八日京城出發北行平壤に赴き同地に二泊の上北行すべし

山と海とを訪ねて

釋尾旭邦

◎松尾君足下、外は浦鹽出兵で騷ぎ、内は米價問題で騷ぎ立つ、ある今日此頃、贅澤な避暑旅行などと洒落れる時では無いが、數日の小閑を得て釋王寺の山と元山の海を一寸訪ねて、京城の熱鬧を一洗致候

◎京元線に於ける平康附近より洗浦の高原地一帶は桔梗、女郎花初め種々の夏草打ち交じりて錦繡を織り成し一大花園を行くの趣きあるは、何時見ても飽かぬ眺めに候夏の京元線は是丈でも一遊すべき價値は充分に候

◎劍拂浪、洗浦の高原地帶は滋味ある重巒を吸ひ熱汗顏に一洗され申候夏の酷暑を避くるには多く得難き地に候此地方未だ旅館の設備充分ならざるも殆ど一人の避暑客を見ざるは寧ろ豫想外に候

◎釋王寺の森林と溪流とは暑熱を一洗し俗腸を洗ふに充分に候上りても上りても盡きざる溪谷を辿れば奇岩怪石に激して轟々たる水聲凄じく、夏尙ほ寒きを覺ゆ、森々たる深林中を逍遙して居れば涼風襟を拂ひ爽然として身の暑中に在るを忘れ申候、殊に此地の炭酸温泉は聞きしに勝る靈泉に候、之に浴せば萬病頓に去るかと思はる、位に候、旅館は永く靜養する客を待つだけの設備無きも、共榮亭内宋君の別莊あり數日の投宿には差支なし、只是だけの好避暑地に未だ多くの客無く、又旅館の設備充分ならざるは寧ろ豫想外に候、鐵道局は何等かの方法を以て多く得難き絶好の避暑地たる此釋王寺に客を吸收するだけの設備を急ぎて可なりと存じ候

◎元山は朝夕非常に涼しく候、其海水浴場は遠淺にして白砂青松の地、實に理想的に候、京城よりも相當に來遊客ある模樣に候、唯此地又間貸の設け無く長逗留の客や家族連の客に不便なるは遺憾に候

◎釋王寺と元山とが一は好避暑地として一は海水浴場として我山紫水明を以て誇る母國に於ても多く見ざる別天地なることは余の語る迄も無きことなるが、此兩地の間隔は僅に汽車にて一時間の地なり何れに根據を構へて來往するも自由なり、山と海とを兼ね有する地として斯の如き地は天下稀に見る所に候

◎是丈の絶好の避暑地と海水浴場を、現状の儘に付し置くは實に天與の賜を無視する譯なり、傍人か此兩地に相當の設備を爲し天下の客を迎へるの策に出でんことを切望して止まざるものに候、又た京城人の如き京城の料亭に暑苦しい酒に腸を腐らすより、此青々とした山と此白砂青松の地に俗腸を洗ひ、元氣を養ふの賢れるに若かざることを知らしめたく候、其兒女と家族の健康の爲めにも必要事と存じ候

◎余は更に金剛山に入らんとせしも雨天の爲め之れは秋に讓り元山より引き返し申候、僅々數日の山水遊に過ぎざりしも元氣頓に一新致し申候、（十五日晩元山より歸りて認む）

人事消息

▲松井房治郎氏（元山理事）一週間の豫定を以て事務打合せの爲め釜山へ出張を命ぜらる

▲千葉縣教育視察團一行　十五日夜入京日の丸旅館へ

▲小栗憲兵大尉（鐵原分隊長）同上

▲富田儀作氏（鎭南浦商議會頭）十六日朝入京浦尾へ

茶前酒後

◆將來に於て、米價暴騰の結果、今回の如き、突飛なる行動を示した國民の生活上に、一大不安を與ふるや否やは、未だ疑問たらざるべからず。而して國民は、將來斯る場合に處しても、狼狽し、騷擾して不安に罹擾せざる樣、今日より心得置くべきは、最必要事たる事を思はずんば非ざる也。

◆世界的大舞臺に立て、活動せんとする我國民は、將來種々の場合に於て、諸種の難關に、遭遇せざることも、限られざる可らざる也。豫め今日より、之が要意を怠る可らざる也。

◆歐洲各國の國民が、最も苦痛を感じつゝあるは、勿論戰爭ならんも、戰爭は洵に國家の一大事件にして、苟くも一旦國家が干戈を動かせば、國民は飽迄も其の勝利に向つて、猛進せざるべからざるは、三歲の童子と雖も、尙は之を知る所、されば戰爭は、國家行爲として、國民は直接國家の指揮に待てば可也、戰爭の苦痛は、國民個人の苦痛よりも、國家の苦痛也。

◆國民個人の苦痛は、食料の缺乏にあり。食料缺乏の苦痛は、豈唯に戰時のみならんや。此の危險は諸種の原因が、齎すべき恐ろしき苦痛也。然らば此の苦痛を脫せんと欲せば、非常事に對する、國民平生の心掛が肝要也。一言にして云へば、國民の對食力強固にあり即ち粗食に馴るゝを要す。

◆現に今回米價暴騰に對しても、國民は三等米よりも、二等米を要求し、二等米よりも一等米を要求せり。白米一升の相場を云ふもの、大抵は一等白米の相場を以てす。是は常食習慣上より、洵に止むを得ざるべけれど、斯る場合に於ては、一等よりも二等、二等よりも三等、三等よりも麥其他の食料を要求すれば、其の生活の苦痛も、減少するを得べし然れども今遽に之を改むるは至難にして、又苦痛を感ずべし。されど生活不安の苦痛に比せば、何でもなき事なるべきを思ふ。

◆粗食は國民一般に之を行はざるべからず、上中下の各階級を通ぜざるべからず、獨逸が食料缺乏の聲高くなるや、カイゼル始め閣僚盡く戰時黑パンを食して、粗食の範を示したる結果、三箇月にして國民一般粗食に安んずる事となれり。好適例に非ずや。吾人は之を實地に適應せん事を切望す

旅行用具一切
流行洋傘各種
專賣品柳製鞄
東京製鞄各種
防水布マント各種
魔法瓶及中瓶取替
鞄製造販賣
京城本町一丁目
高木旅行用具店
電話一三四番

眼科專門
京城若草町（總監部通り若草町新道路中程）
金井眼科醫院　電一五五六
新築落成◉入院隨意◉日曜祭日午前中

民籍 居住 印鑑
法令例規集 全
日鮮文
京畿第一部地方係編纂
菊判洋綴　紙數約四百頁
定價金三十五錢　郵稅無料
特價二十五錢
右一千部限り右特價販賣仕候間至急御注文あれ
但し郵券代用は堅く御斷り申候
發行所　京城太平通　京城日報社代理部
振替京城三〇〇番

魚釣具
投網 卸小賣
鳥捕用カスミ網各種あり御申越次第定價表進呈
京城永樂町貳丁目
吉備商會
電話三一四番
振替京四三二八番

耐火煉瓦
▲蠟石煉瓦（三十番より三十四番）
▲シヤモツト煉瓦（三十番より三十四番）
▲ダイナス煉瓦 ▲マグネシヤ煉瓦
▲耐火モルター其他耐火物各種
平壤府橋口町（電話壹貳五番）
合資會社　京谷商店

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗
サクラ正宗

京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話 四一八 四五四 九四番
振替京城五七番

むすめ印
酢の素
本品は濃淡加減自在にして變味の憂なく却て時日の經過に伴ひ美味を增進す實にむすめ印酢の素は我國唯一の濃厚酢なり類似品多しむすめ印酢の素と御指定あれ
發賣元　大阪市道修町二丁目　小西洋酒部
各地藥店洋酒店に販賣せり

産科 婦人科
京城壽町　電話一二〇一番
二宮醫院
醫學士　二宮亮吉

版　時間表

大正七年七月一日改正現行

（南大門行）

◎濁流街を洗ふ 水地獄の京城

家屋を倒し道路を流し被害夥だしく 慘狀目も當てられず

十五日朝來の雨は夜に入りて益々激しく終に大雷雨となりて各地各所に被害を續出せしめたり今十六日午前十時半までに判明せる京城府內の被害狀況を詳報せんに左の如し

▽本町署管內

本町警察署管內にては南山下なる老人亭下より發せる小川に沿ひたる下流の清溪川に注ぐ迄の間が其の被害最も甚だしく本町四丁目の思案橋の一部墜落し其の下流なる本町三丁目より黃金町五丁目に亘る初音町花園町一帶の被害は慘澹たるものにて

▼家屋の流失 したるもの二棟あり倒壞したるもの二戶、半壞十八戶に達したる程にて豪雨中を右往左往し避難する樣は目も當てられざりしが急を聞き本町警察署にては非番巡查を召集し小牟田署長以下出動し常備義勇の公消防組員と協力して防水救護に努めしが同方面一帶にて橋梁の流失したるもの五箇所道路の破損數箇所にして其延長二百四十間に達せり次に被害甚だしかりしは櫻井町若草町より黃金町に亘る方面にて櫻井町通りの

▼大下水氾濫 の爲め下水約七十間を洗ひ流され兩側の家並は悉く浸水したるが床上に達したるもの內地人五十戶朝鮮人二十戶床下浸水內地人二百戶朝鮮人五十戶に及べり其の他黃金町三丁目にては家屋の半壞一棟浸水したるもの約百六十戶大和町方面にては橋の流失したるもの二箇所浸水家屋內地人のみにて百二十戶あり道路六箇所にて百五十間破損し倭城臺方面にては倭城臺俱樂部の石垣十間崩壞

▼總督官邸前 の橋流失せり、新町方面にては家屋の半壞したるもの內地人一戶朝鮮人四戶あり橋の破損したるもの二箇所床上迄浸水したるもの九十戶床下は同じく六百戶に達せり而して黃金町四丁目にては家屋の半壞二戶破損五戶床上浸水二百戶同じく床下三百九十四戶黃金町七丁目にては床上浸水四十戶破損したる朝鮮家屋二十二戶を出だし黃金町一丁目は清溪川の濁流其の他にて床上浸水五十戶床下は同じく七百戶に及べり其の他南山町旭町南米倉町等の如き南山麓の市街は至る所道路の破壞甚しく街路は悉く

▽河原の如き 觀を呈するに至れり蓬萊町にては旭川の汜濫にて浸水したるもの約七十戶道路の破壞七箇所半壞家屋二戶ありて

▽鍾路署管內

鍾路警察署管內にては清溪川に沿ひたる一帶の家屋並に鍾路五六丁目、西大門一二三丁目、苑南洞、橋北洞、光化門通等の浸水家屋夥しく其の他貫鐵洞、觀水洞、安國洞、勸農洞、寬勳洞、蓮池洞、惠信洞、仁寺洞、寺洞は一部浸水家屋あり京畿道廳北側の土墻一部崩壞し東廟の石垣も若干崩落せり其の他倒壞家屋、道路の破損等多き見込みにて目下鍾路署に於て取調べ中

西大門署方面なる義州通一帶にては浸水約二十戶を出だせり吉野町方面は下水溝の水流激しく上より土砂を洗ひ墜さしたる爲め南大門驛前より古市町一帶へかけて道路は一時濁水滔りて膝を沒し電車線路埋沒し附近浸水家屋夥しく電車は一時不通となりしが會社にては應急工事を施行其他隨所に石垣の崩落道路の破損等は數ふるに遑なく雨歇むと共に復舊工事を急ぎ居れり

▽學校とお寺に避難 —龍山方面の被害— 憲兵隊炊出しに從事す 漢江は三十尺迄增水か

新龍山にては聯隊橋手の下水汜濫して兵器廠附近より漢江通り一面は一時通行し難き迄路上を濁流奔騰し漢江通十五、十六番地は五十餘戶浸水して一時龍山小學校に避難したり

▼舊龍山方面 にては元町四丁目に於て床上迄浸水したるもの鮮人十五戶內地人二戶床下浸水は朝鮮人十戶內地人三戶、電車線路の土砂に埋沒されしもの約十間ありて電車一時不通となり其他山手町にては堤崩れにて道路百間埋沒され元町三丁目にても同じく五十間破損し其の他土砂を洗滌され堤を破壞されたるもの等にて舊龍山方面の損害約一千圓以上に達すべく元神明町は床下浸水六戶漢江にて避難船三隻流失し元町二丁目にては床上浸水六十戶道路の破損甚だしく元町一丁目にて電車線路三十間土砂に埋沒され元町二丁目山下コークス店所有の

▼石炭約百噸（價三千圓）流失せり青葉町は浸水家屋百二十六戶に達したるが漢江は十六日午前十時二十分元町四丁目下にて十八尺、十時五十分にて十九尺正午二十一尺に達し尚增水中にて或は三十尺に達するやも知れずこ是が爲龍山憲兵分隊にては消防組を出動協力して應急防水工事避難等に努め新龍山の避難者は龍山小學校に舊龍山方面は本願寺に各收容し京城府と協議し十六日朝より避難者の爲め一食分の炊き出しをなせり

◆京城の出水被害 （上）濁流渦を卷く櫻井町（下）黃金町四丁目の慘狀（十六日午前七時撮影）

▽漢江終に廿五尺 尚刻々增水中

十六日午後二時龍山元町四丁目下にて漢江の增水二十五尺に達し尚且刻々增水中

▽清涼里方面

京城分隊管內にては清涼里手前なる高陽郡崇仁面龍頭里の土橋流失し電車線路を傳ひて京城との連絡を保ち居れり又漢江里にては漢江の增水十六日午前九時半二十尺の增水を示せり

▽落雷から危く火事 開城の出來事

開城にては十六日午前三時五十分頃兩楊州の增水にて濁流市街に汜濫し來りたるより開城警察署にては非常召集をなし開城憲兵分隊消防組員と協力して防水工事避難救護等に從事せしが幸ひ人畜には異狀なかりしが午前三時頃南山町五百七十七番地田興鎭方に落雷せしも死傷なく雷火にて大事に及ばんとせるを危く消防組が消し止めたり

▽內地人溺死 家諸共行方不明

楊州郡九里面朴洞里居住村上民之助は十六日朝屋上に避難中墜落して家諸共に行方不明となれり

▽抱川郡地方

抱川憲兵分遣所管內にては河川の增水十五尺に達し抱川郡廳前の橋梁流失の虞あり憲兵消防隊にて應急工事中なるが邑內の浸水家屋二十五戶あり倒壞家屋三戶水車の流失七箇所あり

▽急行列車の立往生 土車を粉碎す

十五日來の豪雨にて京釜線軍浦場安養間に出水あり之が爲め兩地間の鐵道に故障を生じ十五日午後二時五十分釜山發は十六日午前七時南大門着急行列車は水原より空しく引返し十五日午後十一時三十分釜山發奉天行急行列車は終に水原にて立往生するに至れり其後故障箇所復舊し奉天行列車は定刻より二時間遲れて水原を發したるが其途中同列車は軍浦場驛を距る北十四五町の地點にてトロッコと衝突之を粉碎したる騷ぎに此處にて又復三十分の遲延を生じ結局定刻よりも二時間半遲れて漸く正午前南大門驛に到着したり尚右のトロッコには鐵道工夫十名許り坐乘し居たるが之等は列車の驀進を見るや逸早く飛下りし爲め幸ひに死傷者なく列車は機關車前部の救命具を破損したるのみにて他に格別の異狀なかりしと

▲別報 安養軍浦場間二箇所線路崩壞增水甚だしき爲列車不通となり京城管理局より川江工務課長及び保線長急遽現場に出張極力指揮監督復舊工事に努めし結果午前九時三十分に至り復舊之が爲十六日午前九時南大門着北行列車は約一時間延著し同八時四十分南大門發釜山行六列車は一時間四十分の延著を見たるも內地行連絡には差支なしと尚其他水原軍浦間線路浸水千餘箇所ありたるも何れも應急修理を加へ列車徐行運轉には支障なく又漢江橋第二橋梁南岸（鷺梁津側）の切取土砂崩壞一時運轉不能なりしも午前八時開通せり

▲京仁線 仁川驛構內第二ポイント附近線路崩壞應急工事の結果午前十時復舊せしが該線は南行北行兩線ある爲め京仁間列車聯絡は何等支障なし

▽京元線 鐵橋一部破壞 議政府の附近

楊州分隊より十六日正午警務部への電話報告に依れば各河川增水六尺乃至八尺に達し浸水家屋其の他の被害ある見込なるが議政府樓院間の無名川に架しある京元線の鐵橋は一部破損し十六日午前九時三十三分議政府發南大門行きの貨物車は不發の儘復舊工事を待居れるが工事完成迄に四時間を要すべし

◎救助と廉賣注意 米廉賣は十八日朝より

京城救濟會にては既記の如く米價の狂騰に就いて細民救濟及び米の廉賣を爲すことゝに決し十五日午後之れに關する具體案を決定せるが十六日も引續き午前十時より京城府尹宅に於て各關係者と凝議する所ありて救濟及び廉賣に關する設備實行方法等に就き種々打合せを爲せるが細民救助は愈々十七日午前八時より實行の事に、又米の廉賣は十八日午前九時より實行の事に決定せり

▲細民救助

▲救助すべき人員約千名の豫定▲交付回數は四回とし一回の交付高は十日間分とす▲救助せらるべきものは警察官憲に於て調査し救助を要する者と認められたるものに限り救助施米券を交付され所定の交付所に出頭せしめらる▲此の場合は相當の容器を必ず携帶すること▲細民救助は八月十七日午前八時より開始し取扱ひ時間は午前八時より午後四時迄とす▲現品交付所は明治町二丁目元漢城病院跡及び龍山祭町京城府出張所の二箇所なり▲其の他の事項は本紙十六日朝刊參照のこと

▲米の廉賣

▲廉賣は八月十八日より每日午前九時より午後四時迄實行せらる▲廉賣一回の量は一升二升及び五升三種に限らる即ち三升四升若くは五升以上を求むることを得ざる譯なり▲廉賣は所定の切符を所持したる者に限らる即ち廉賣を受けんとする者は此の米券を代金引換にて購入せざるべからず（釣錢の取引は決して爲さざるに付必ず小錢を用意し置くこと）▲右米券の發賣は銀行に依賴し廉賣所に於て發賣せらる即ち廉賣を受けんとするものは先づ米券を購入し代金を支拂ひて然る後白米の交付を受くること、なるを以て必ず相當容器を用意し行く事必要なり▲廉賣白米の賣り値段其他は廉賣所其他に貼紙して公示せらる、筈▲廉賣場所は九箇所とし京城七箇所龍山二箇所とし大半は學校を利用すべしと▲廉賣は鮮人には所謂朝鮮白米內地人には白米を以てす▲其他の事項は十六日本紙朝刊參照のこと

▲米の調製と量手を得る困難 救濟會理事談

右に關し理事者の一人は語つて曰く『俄の計畫なるが故に米の調製に甚だしき困難を感じてゐる殊に昨今の如く天候不良の際は龍山精米所の如く乾燥機を有する所は別として其他にては殆んど稼搗不可能を告げてゐる即ち已むを得ず市中の篤志家に就き白米と玄米とを交換して貰つて救濟及び廉賣の用に供することゝせり而して某會社の持米は目下地方にあり之等は鐵道局と交涉して急速の運輸を圖り居れるが這は同會社が救濟會の手を經て廉賣交付手續きを託せられたるものなり、尚ほ救助及び廉賣の場所其他の設備に關しては土木係りより出張して鋭意其の工を急ぎ居れり而して今一つ困難を感ぜしは米の量り手にして而も之は廉賣に關する最大要件たるものなり素人を以てしては到底不可能の事に屬し白米小賣商組合に懇請して之等量り手約三十人の供給を受くることゝなれり中には白米小賣商主人自ら起つものもあり孰れも救濟會の主旨を諒し義俠的に起てるものなりと

◎白米商組合の廉賣券 愈十七日から派出所で交附す

既報の如く京城白米商組合にては細民救濟の爲め自ら率先して京城救濟會の別働隊となり白米百石の廉賣（一升に付十錢安）を爲し應分の力を致さんと決定し準備進行しつゝありしが愈々十六日組合に於て出來上がりたる廉賣券を警察署に差出したれば警察署にては之を十七日朝より各警官派出所に備へ付け遲き希望者に對し一回五枚以下を交付する由尙ほ右券交付に就ては別に派出所に於て要求者の姓名を書留むる事等の事を爲さず頗る簡易に取扱ふ由なれば要求者には煩瑣なる氣持もせざる可しと

□救濟會寄附金 十六日午前中

米價昂騰に據る細民救濟及び米廉賣の目的を以て組織されたる京城救濟會に對し其の後十六日夕刊締切迄に寄附の申し込みありたるもの左の如し

三百圓　小林源六
百圓　睦商會
百圓　山岸天佑堂
五百圓　小林藤右衞門
合計一千圓
累計金五千六百圓也

◎支那汽船遭難 淺瀨に乘上ぐ 東京灣にて

支那郵船會社汽船チャイナ號は桑港より横濱に向け入港せんとし十五日午前十時半東京灣にて針路を誤り淺瀨に乘り上たるを以て港務部より汽艇を出し救助せり（東京電）

緩衝機（投書歡迎）

三井支店長へ告ぐ 窮民代表者

◆貴下の御說明を多とし重ねて云はん余が根據無き想像より中傷せるが如く君は想像せるも決して然らず去る十日附京城日報朝刊三面に某氏（新聞には職業姓名共明示しあり）の歌に『然し三井等には粟の貯藏があるで之は代價が引き合はぬと云ふ事で保留されてあるから……云々』とあり◆而して此記事は其末尾に特に（九日記）と記しあり少くも九日以前に於ては左樣の事ありと斷ずるも讀者として決して不當の見解に非ずつまり新聞紙の一般奸商に對する罵詈讒謗を加ふるに及び急遽りて受商に交付し『一升も無い』と云うてよいと白を切りたる如し然し此間の辯解は如何樣にも出來得べく支店長は若し其記事が間違とすれば事實を明示して世間の誤解をさけば足れるには非ずや三井の如き大取引を爲すものが主義として思惑を爲さざるは余も知れり（店員は個人として自由に爲すを得る也）唯君が三十車の粟を輸入し市况緩和に貢獻せる樣自惚れらるゝはチト見當違ひにて事實此三十車の粟は需用者の手には渡り居らず然し今は思惑事を論議して居る時代では無い◆君にして大商人たるの襟度があるならば今少し積極的に行動すべきであるそれだから云つて何も君に一萬圓の特別賞與を其儘吐き出せとも店員諸君が金のあるに任せ京城花柳界で惡ふざけの限りを盡して數百金を抛つを今止めよとも云はぬ又乳く假さる可き遊びも止めよと言はぬ之は別に議論のある事であるが◆只今回の如き社會問題の起るに際して內地に於ても朝鮮に於ても三井程の者が何等直接社會に貢獻した事を聞かない事を三井の爲めに悲しむのみである、三井支店長足下、願くも朝鮮に於ける三井丈けは風紀紊亂に堕さるゝ金は最早充分である餘力あらば以て新附同胞の民心を易ならしめ皇化を思はする手段に出でられよ

◎美人の厭世自殺 平壤

の美人名物女として有名なる旭町三木ねの方美人仲居吉本つた（二二）は十四日夕刻外出し實兄を訪れしまゝ十五日夜に至るも歸宅せざるより大いに驚き八方搜索したるも判明せず十六日午前七時半頃大同江渡船場中間大同江渡船繫留場に白木綿にて兩足を堅く縛りたる同人の屍體浮揚り居るを渡守發見し直ちに平壤署に通告し警官出張檢視の上屍體は實兄松本啓三に引渡したり、原因は何等の書置もなきより不明なるも日記等を引斷きあり且つ數日前或人に向つて『世の中が厭になつた』など語りし事ある由なれば厭世の結果自殺を企てしなるべし（平壤電話）

內地見學團より（一）

京城中學校附屬敎員養成所生徒三十名は職員二名に引率され、十三日朝京城出發內地見學旅行の途に就いた。一行中の堀川長谷雄君の通信で、同君は今後尚行く先々から見學の所感は無論一行の動靜に至るまで互に通信される筈である。細大漏らさず率直に通信される筈である。成感なる現代青年の眼に內地百般の事物が如何に映ずるか、記者は讀者と共に多大の興味を以て次の通信を待たう

△一路釜山へ 堀川生

◆八月十三日朝、京中敎員養成所生徒一行三十餘名は、豪雨を冒して南大門を去つた。最前の車室に陣取つてゐると車掌クンが來て『團體だから』と云ふので最後の一室四十名の室に入れられた。◆雨天の汽車に車中は涼しく、皆は極元氣だ、談話に耽り、雜談に花を咲かせ、或は默つて外を眺めて居る物好きな男がそろ〳〵他人の顏を描き始めた。◆汽車は躁つく雨を浴びて、平原を走り鳥致院を過ぎ、高峰が潜つて大田に進した。成歡に來ると松崎大尉の記念碑が丘上に聳えて居る、日清之役の昔を偲ばしめる。◆雨が小降りになつた、窓に凭ると朝鮮人が、開放してある牛や山羊の側で面白さうに見送つてゐる。室內が蒸し暑くて靜かになつたと思ふと、皆が眠りだしたのだ。本を讀んで居た者はそれを枕に、坐つて居た者は横になつて居る。◆生溫い夕陽が這入り出した、空は雲が覆つてまだ形勢不穩である。ふと海が見ゐる、釜山だ〳〵と云ふ聲は車內に滿ちた。棧橋に行くと新羅丸が待つてる。『滿員になると關釜はお斷りします』と一人の男が云ふ。一先づ休憩所と待合所に這入る。◆やがて『お乘り下さい』とボーイが來た、形ばかりの税關の檢査を受けて地獄のやうな船底に這入る。暑いことゝ一方でない。

◇各地の白米 ‖十六日小賣値段電報‖

▲公州▲ 一等白米一升三十六錢
▲鳥致院▲ 一等白米三十七錢二等三十五錢三等三十三錢
▲全州▲ 値段區々なりしが內地人米商協議の上値段の統一を圖り十六日一等白米一升卅八錢に引下ぐ
▲木浦▲ 各店の値段一定せざるも小賣一等白米一升三十九錢卸賣三十六圓
▲平壤 十五日同值一等白米一升三十八錢氣配弱し
▲兼二浦 特等米一升三十八錢
▲裡里 一等白米一升五十錢二等三十八錢にて六錢下落す
▲群山 一等白米一升三十六錢十五日に比し三錢安正米は稍强く十五日に比し一圓高となれり

讀者文藝（一等には五十錢の圖書切手を呈す）

▲課題川柳『錢』
◎此頃の江戶ッ子宵越の錢を持ち（一等）　水原梅海驛合宿所第四室　松風舍主人
▲好いた客身錢を切つて留めておき　安州　蘇六郎
▲手の切れる樣な紙幣から足がつき　鎭南浦　きの字
▲江戶腹の鼻息荒らい錢の香　龍山　鳥石

◎鮮人の教化は金の問題

本願寺の信徒多き譯にて各地にも說敎所を設け內地人は勿論鮮人にも [illegible] られ一般布敎に從事せしめんには向多くの人を派遣せざるべからさる [illegible] は內地にも相 [illegible] て難きにあらざる事を觀取せり支那人に對しては由來非宗敎的にして而も現實主義なるが故に到底 [illegible]

後四時聯隊旗を捧持し福田聯隊長統率し機關銃隊特別 [illegible] 匪盛なり（大連特電）

◎連絡船上陸客

十五 [illegible] 一等（九名）鈴木雄太郎、水橋左內、平林武、山下忠次郎、同英、山本龍四郎、外一名 二等（二十八名）德田秘、同俊、今村 [illegible] 村田保三、中村昇、田中晶治、藤崎四郎、蝦母井喜一郎、吉原うさ、同芳雄、同さよ [illegible]

天氣 南風 小雨 ▲八月十七日（十六日午後六時より十七日午後六時迄）
◎日出 五時五十分 ◎日沒 七時二十五分

演藝案內

◎有樂館 活動寫眞常設館 ◎實寫 鰐 ◎米國ユ社バイソン映畫 人情活劇 馬賊の最後 ◎社會劇 拜金狂 ◎喜劇 物價騰貴通し ◎人情活劇 八民

浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 八月十四日より晝夜 東京大阪合同落語大一座

大正館 櫻井町 電話八七三 當る十六日より特別大寫眞 ◎新派悲劇『霜夜の月』 ◎連續第二『秘密の王國』

壽館 本町二丁目 電話一〇五〇

黃金館 電話二六三七 二三六六 ◎眼覺しき大寫眞◎ 條の半內 百萬弗の秘密 味原池心中

富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 山縣五十雄 村上唯吉 共著 五週年紀念擴張廣告の爲 京城太平通 振替京城三〇 東川代理部

一厘も手 無用貸附 提供及び臨時特價も 象印冠 安樂五反扱 說明書送 大阪難波芦原町

[illegible]氏は語つて曰く朝鮮及び滿洲に於ける[illegible]滿洲には中國及び九州より[illegible]せるもの多ければ從つて西[illegible]は鮮語に熟達の必要あり年々二三名宛留學の名を以て派遣せるが是等は主として監獄の敎誨師に充て[illegible]供給の必要あり左れば經費の[illegible]さへ得れば將來充分なる布敎の餘地あり多數の信者を得る事は決つ[illegible]

○白玉山上に記念の撮影

旅順步兵第二十八聯隊は十四日午[illegible]山納骨堂に參拜、記念の撮影を爲したるが士氣[illegible]

[illegible]一等(十[illegible]名)[illegible]野上市平、岡田留子、[illegible]野呂辰之助、岡田榮、近藤豐見、井上政松、[illegible]信子、三谷貞次郎、丸上梯次外八六名 二等(五十四名)大永和平、島戶平[illegible] 三等(三百四十四名)[illegible] 三等(百〇八名) 同日午後釜山入港對馬丸一二等客[illegible]

豫報 曇

米價と對應策

◆開城の應急策◆

開城にては米問題に關し森脇警察署長は山崎郡守と協議し米價調節策に關し左記の應急策を採りたり

移出米防止方法

(一)開城の白米供給元たる永昌兩城の兩精米所主を召喚し(イ)京城甲田某に賣約せる米の引渡しを延期し差當り永昌精米所より四十五石を開城市中に賣り出す事(ロ)今後當分他地方への移出米を見合すべき事

懇談を快く承諾

(二)開城市中の富豪(地税百圓以上を納むるもの)二十七名を召集し此際自家所用の米以外餘分の米を相當の時價にて前記兩精米所へ供給されたきこと及び遠地への移出を當分見合されたきことを懇談したるに何れも其の懇諭を諒とし喜んで之を快諾したり

暴利を貪る奸商

(三)小賣り業者の相場を調査したる中には甚だしき暴利を貪りたる者あるを發見したれば是等の徒に對して說諭を加へたること

粟の買占と說諭

(四)昨今開城にて粟の買占を行ひたる奸商あり爲に粟の相場俄然激騰したるを以て該買占商人及び仲間に立てる仲買人を說諭したる事

外國米を移入す

(五)仁川へ照會して外國米移入の途を開く事を決行する事(開城)

◆大邱商議所◆

大邱地方の米價は既報の如く一時一等白米小賣り一升五十錢迄狂騰を見たるが這は全く釜山の卷添へを食ひたるもの、如く其の後漸次低落し昨今三十五六錢內外を持續し居り最早今後昂騰を見るが如き事は萬々なかる可しと思はるゝも尙今後如何の變動を見るやは豫め計り知る可からざるものあるを以て大邱商業會議所に於ては之が對應策に就き機宜の處置を執る可く去る十三日午後三時より會議所に於て緊急役員會を開催し會頭、副會頭以下八名の役員鳩首凝議の末近く當局に於て之が根本的抑壓手段こして執る可く傳へられ居れる鮮米移出制限令を速かに發布方の請願書提出のことに決議同四時廿分散會したるが商議所にては右の決議に基づき翌十四日午前中農商工部長官宛『鮮地米價調節の爲め鮮米移出制限令發布の由に聞く右は機宜に適したる御措置と信ずるを以て至急御施行を仰ぐ』なる電報を發したりと(大邱)

◆釜山署の訓諭◆

釜山警察署にては府內米穀小賣商內地人九十六名鮮人百零七名計二百三名を警察署會議室に召集し十四日正午若松府尹列席の上釜山府民の現今生活狀態より說き起して細民の窮狀に及び米穀小賣商人は宜しく此の際義氣を出して一定の標準價格を設け出來得る限り安價に放賣せられたしと訓諭し續いて橋本署長は秤目の正確、米等級の正確、斂量等に就きて又訓示を爲したり(釜山)

◆晉州の警告◆

慶南晉州警察署にては日鮮人米穀商三十餘名を召喚し渡邊署長より奸惡手段を講ぜざる樣嚴重なる警告をなしたり(晉州)

○もう一月で新米が出る

◆夫までの繋ぎは充分◆

現在慶南晉州の在米は地主連の手持品七千餘石、米穀商の在倉米六千六百餘石合計一萬三千六百石なるが現在晉州郡の鮮人十一萬五百七十七人、內地人二千餘人なるが鮮人は麥作收穫後は殆んど麥を常食とするを以て老幼平均月四升、內地人七升とし二個月後は新米の市場に顯る故に二個月間の內鮮人費消米は一萬三千八百石位と假定し得べし然而已ならず鮮人費消高にて餘程減じ得べきこと咸陽、山清の米產地よりの移入等に依り釜山方面の買手來らざる限り一般に憂ふべき程の在米薄にあらずして寧ろ豐富なる狀況と云ふべし(晉州)

○群山の廉賣

群山米穀商組合が群山府內の細民救助の爲めに金二千圓を醵出し十五日より白米安賣りを爲すに決したるは既報の如くなるが醵出金二千圓の內一千圓は組合全體より支出し一千圓は組合員中重なる者より醵出したるものにして其後別に組合員中數名の醵出せるもの一千八百圓ありて合計三千八百圓に達したる由にて其後米價の稍低落せるに準じ內地人細民には白米一升二十八錢鮮人細民向きは二十三錢の安賣り豫定なりと(群山)

○米の騰貴と下層鮮人

救濟を要する者は一人も無い

松本仁川警察署長談

米價の昂騰は一般下層民の生活狀態を危機に瀕せしむるは勿論であるが殊に中流に於る俸給衣食者の家庭に於て其の慘たる內情を見るものである然れ共之等は社會上の地位名譽を顧みる必要ある智識階級にあるを以て內政は所謂火の車であつても容易に外部に其の苦惱を洩らす者でない從つて救濟に手を下す等の必要の者も發見する筈がないが

▽幸ひ にも下層民に於ても未だ救助を要する程窮迫し居る者を發見しない之は頗る一見不思議の樣であるが下層勞働者の裕福こ勞働者の賃金が比較的昂く給せらる事等は立所に彼等が窮迫せない大なる原因であるに相違ないが更に彼等には若生活に窮すれば徒らに高い米飯を喰はなくこも米價が四十錢或は五十錢しようこ別に食ふべき或る物を持つて居る即ち本年麥の豐作は農家に生活餘力を與へ時恰も

▽甜瓜 或は馬鈴薯等の出盛り期であるのは之等の常食に馴たる勞働者に尠からず生活の便利を與へて居るのである即ち米價が突飛な昂騰を續けても尙ほ比較的生活に餘裕を存する所以のものは一つに時機が宜かつたからである若し嚴冬季であるに物無く働くに仕事なしこ云ふ時機に於いて此の米價の狂騰を來したこ假定したら實に由々しき生活問題を惹起したに相違ないが此事なくして未曾有の高價四十錢五十錢を稱へても尙救濟を要する者の發生しないのは前に云ふ如く

▽時機 が頗る好いからに依るのである殊に勞働者の家庭に餘力を與へて居るのであるから若し働く者の健康を害するこか其他の事情があつて勞働に堪へぬ樣にならぬ限り其一家は比較的樂であると又之を附近沿岸の島嶼に就て見るに漁業に從事する島民等の生活は本年は魚價其他婦人の採取する貝類の如きに近來價高に對するだけ相應の高値にあるが故に

▽却て 例年より裕福にある狀態であるから從つて彼等の生活は此の懸念すべきものが無い現に島民が沿岸各地に其の漁獲製品假令ば漬鰕或は貝類の鹽辛等も之等の製品が頗る高價なるを以て米と交換する如き例年より却つて昨今の米價高にも尙は却つて割合が善い位の狀態にある、今日生活難を訴へ實際に於て餘程窮迫に近づいて居るのは下層社會にあらずして實に中流に在る俸給衣食者の家庭である然るに之等の家庭に限つて

▽麥は 食へぬこか或は外米を食ふ事を一種の恥こでも心得て居る樣な連中を往々にして聞くが大なる心得違いだこ思ふ外米を食ふのが何が恥か須らく此の窮迫の砌進んで外米を食ふべしである

○篤志家續出

大邱の米價は既報の如く一時五十錢迄昂騰を見たるも其後漸落し昨今三十五六錢を持續し居れるが此際大邱何れかに於て以上の安價を以て市民に米の供給を爲さんこするが如き企てある場合は之が資金として金員を寄附したきを以て斡旋方を元町木村竹太郎氏より府廳へ申出たる由なるが同氏の外尙數氏よりも同樣の申出ありたりこ(大邱)

農信

◆稻作(咸鏡道) 本年は稻の移植期に降雨多量にて天水地の高地は全部移植を終りたる故に數度の洪水に底地の浸水又は流失し多大の被害あるこ雖も槪して例年に比し作付反別の多きを示せり其後の發育は移植後連日の降雨に氣溫下降し發育遲々として進まざりしが土用入後打續く照込に好發育をなせり害蟲又發生を見ず目下の所一般に豐作を豫想せり

○粟の飯

◆朝鮮人が食ない譯◆

仁川食糧所副會頭　丁致國氏談

小賣白米が四十錢を越して鮮人の生活に困る者が多いに相違ないことは誰でも思ふ事でありますが割合に左程困つてゐないと云ふのは不思議な現象であります第一此の米高に際して粟の賣行きの少いのも不思議です、けれども割合に窮乏してゐないと云ふのは勞働者の勞銀が騰つて比較的從來よりも餘分の收入があるからに依るのでせう勞働者は近頃非常に減少した樣です之は其實際の有無は疑問ですが何でも兼二浦や平壤に行くと

◆一日收入一圓以上◆

になる筈と噂されるのが原因で皆さ其方面へ行くのらしい、附近の農家は割合に裕福でせうと思ひます粟を食はぬと云ふのは一部の云ふ事で矢張り相應に食つて居る者は多い樣です唯今日米價の割合に粟の賣行が少いと云ふのでせう之には一つの原因があるらしい即ち

◆粟は炊いて殖ゑる◆

こいふ一部の噂が何處からか傳はつて婦人などがさう云ふのを調くのですが之は誤りでせう由來粟飯の炊き殖ゑのする事は昔からの云ひ傳へで實際に殖ゑるに相違ないのです、昔から黃海道、平安南北道或は江原道邊では客が見れたら水一杯こいふ事を言ひます之は地方の農家では夕飯粟飯を炊くに必ず一定の人數を計つて炊く若しそれに一人增ゑたら一人分だけは不足する事になるのですから之を別に炊く譯にもならぬので

◆止宿の客の姿が見◆

わたらそれに水一杯を增せば粟飯は一人前殖ゑると近いひ傳へがあるのです之を以て見るも粟の殖ゑぬ等は間違つた噂だと思ひます又今年は麥が豐作ですが此の麥を食ふ宅は鮮人の家では贅澤になつて居りますそれは田舍の燃料に困る處でしたら皆麥飯を食つてゐますから市街地附近になると麥は二度炊いて初めて飯になるので薪が澤山に要る、却つて薪代が高くなつて麥飯は贅澤だといはれてゐるのです慈な具合ですから粟等も相應に食うべき筈ですが近頃は米の騰貴に比して割合に困らぬ樣に見受くるのは矢張り勞銀の好い關係などは大なる好影響をしてゐるのでせう(仁川)

元山の一日(2)

安協將軍の鼻息

―鼻から提灯、口から涎―

僕の乘つたのは始めから二番目の三等車、隣席に青年の一團あり往十里あたりからウイスキーを拔いて飲み始めたが、飲んだ酒なら醉はずばなるまい、何れも見る見る裡に眞赤になると共に盛んにメートルを上げ出した。『オイ天野川貴様は明日釋王寺に行かない?生意氣なことを云はずに僕等こ安協しろ』『安協しろたつてこの天氣ぢや駄目ぢやないか』『何、天氣だ、無論晴れに極まつてらあれ、擇り作らお天道様も此方と安協してるんだよ』中でも一番醉つて居るのが頻に安協々々を連發して、大きな聲で仲間の一人にトグロを卷いて居る、その騷々しさ、お蔭で此方は臉が少しも安協しない『嗚呼、無體者!』こ心の中で叫びつゝ耳を塞いで見たが矢張駄目、傍の乘客も迷惑相に眉を顰めて居る、終には堪り兼ねて『安眠妨害』『シッ〳〵』こ叱咤する者さへ現はれた、すると例の安協將軍、醉眼を瞬こ否ドロンこ眠いて『泥棒めし、そ、卵のお供ぢやあるまいし、ぞ、默つてばかり居られるかい』こ猛烈に遣り返すその尾について『酉質だ、吾々の樂みさ云やあ年に二回の運動會があるばかり、偶に斯うして骨休めしやうてんだ、少しや大目に見て貰はなくちや……』こ抗議こも歎願こもつかぬ事を云ひ出す者もある、妙なもので相手に斯う出られては寧ろ可哀想になり今迄の反感も何處へやら、外の乘客も大人氣ないこでも思つたものか其儘口を緘んで了う―其內に安協將軍の一味は一人倒れ二人倒れ、終には殘らず枕を並べて打倒れた、ヤレ〳〵助かつたこ胸撫で卸した甲斐もなく、此連中好く〳〵因果な生れこ見ね今度は調子を合せて謠ふやら怒鳴るやら『さすらひの唄』も出た、『筏節』も出た、天勝一座の美人か謠つたこ云ふ『今日は村の花祭』も出た、御多分に漏れぬ親不孝野ではあるが揃ひも揃つて器用な咽喉である、是までになるには定めし尠からぬ馬鹿金を使つた事であらう、こ人事ながら癪氣の筋が痛んで來た。

乃で餘り長居は命が危い、命あつての物の種、鼻あつての芋の種こ云ふ事もある三十六計逃ぐるに乎なしこ匆々二等車に退却に及ぶこ此處は道に客種がチョッソ、鐵道の乘務員を除くの外は大抵橫になつて鼻から提灯口から涎、ライオンのやうな鼾をかいて海水浴の夢でも見て居るらし。オッとこれは餘りこ云へば失禮な言ひ分、青切符の手前、いくら魂こやらがお留守でも斯んな醜態を演ずる人は一人もない筈、提灯こ涎こライオンだけは正に取消して置く。(西村生)

○鎭海の戸數

七月末現在に於ける鎭海戸數千三百十二戸人口男二千六百二十四人女二千四百九十九人計五千百十九人にて前月に比し一戸四人減少せり

○慶南と檢穀

慶尙南道米穀大豆檢査所に於ける客月中の檢査成績を聞くに玄米檢査俵數二萬九千〇八十九叺にして內特等無く、一等二百四十七叺二等千九百九十一叺三等一萬四千七百六十五叺計一萬七千〇〇三叺の合格にて不合格は品質乾燥不良六千〇四十四叺夾雜物四千百十一叺赤米八百四十四叺混米千〇八十七叺計一萬二千八十六叺也右檢査總數に對する不合格の步合は六月は二割七分四厘強なりしも七月は四割一步五厘強に當れり之れ畢竟米價日々豫想外の暴騰に伴ひ如何なる不良米こいへども盛に搬出し來るが爲めにして客年同月の檢査總數に比較するときは約六倍の多きを見る大豆は檢査總數一千四百二十一叺にして內不合格は品質乾燥不良の爲僅に十二叺を出したるのみにして千四百〇九叺の合格なり

▲米 (釜山)三一、六五五(馬山)六〇三六(辰浦)一三三五(泗川)一五七五(進永)一三〇三(龜浦)九七二五(下端)九九〇(密陽)一〇九一(洛東江)三三四二(蔚山)一四

▲大豆 (釜山)一三〇三(馬山)一八(進永)一二(密陽)一七(洛東江)五二

○電話の民營

間島局子街、龍井、頭道溝の三要地を聯絡すべく架設したる電話は支那官營に屬するものなるが其以來公衆電話の使用料に於いても相當の收入あり劣之れを民營に移さんこの議生じ支那官憲側の意向も略之れに一致し居れりこ謂へば早晩事實となりて現はるべし(間島)

○鮮牛と浦鹽

近來浦鹽在住邦人が組織せる軍事用達社は我が派遣軍需要の牛肉を朝鮮より仰がんこの計畫あり即ち買出に著手せるものゝ如きが我派遣軍一箇月間の需要數量は約一千頭の見込みなるが之れが全部の供給は北鮮牛のみにては困難なるを以て每月三百頭內外を北鮮より仰ぐべく其の他は他方面より求めんこするもの、如し而して北鮮より仰ぐべき三百頭は內百頭は國境方面より二百頭は海路城津其他より輸入すべき豫定にして先づ試みこして十六日清津經由浦鹽行平安丸にて牛三四十頭を輸出する事こなれり尙は斯く軍用牛の需要激加こ共に自然牛價の暴騰を來すべき筈なるが今回は軍需品たるの關係上軍其の他當局に於て干涉し暴騰を來さゞらしむべしこの事なり

○新義州〇〇〇

義州在任の〇〇〇〇にあて今日迄〇〇發したるもの六名なりこ

◎憲兵候補者 大邱憲兵隊本部にては嚮に大邱步兵第八十聯隊及び鎭海重砲兵大隊の現役兵中より第三期憲兵上等兵候補者採用試驗を執行の結果十名採用に決し去る十五日入所式を執行したり(大邱)

○火に祟られた町

大火以來四度目

十四日午後四時平壤泉町六番地洗濯屋丸八こと八束太郎方より出火したるが折柄白晝の事こて人の寄り集まること多く且つ出火の發見早かりし爲め大事に至らざりしも一時は非常の混雜を極めたるが同五時頃警官消防組の盡力により鎭火したり原因及び損害高等目下不明取調中なるも出火の場所は多分乾燥場ならんこの事なり尙本年に入りて大和町の大火以降同町附近は四回目の事こて附近の者は奇異の感を爲し居れり

○鮮支人の達引

◆兼二浦遊廓に於て◆

十三日午後十時頃兼二浦里鮮人遊廓に於て鮮支人の素見客間に於て口論の末喧嘩を初め之れに驅け付けて鮮人五六十名加はり既に大喧嘩こならんこしたる處へ兼二浦駐在所の高宗秀部の一隊が驅付けしため恰も蜘蛛の子を散らす如く四散したり(兼二浦)

○刑事と僞り

◆阿片を捲上げんこす◆

大邱南山町李秦鍾(四二)慶南咸陽郡安義面金寅重(四六)慶南居昌郡加北面李明義(三〇)同善某(四〇)京城寛洞俞鎭赫(三二)同尹享求(三二)同崔志弘(三二)慶北達城郡達城面鄭富烈(六三)大邱西城町金雄(二八)同孫宗秀(三五)支那安東縣玉國寶(三三)の十一名が阿片罪及び各種の未遂窃盜詐欺取財等を犯せしこを大邱憲兵分隊に於て探知し取調の上一同大邱地方法院檢事局に送りたるが其犯罪の內容を聞くに頗る大袈裟なるものにして前記李秦鍾は大邱居住の李甲多及び金某なるもの、周旋にて前記金寅重より阿片一貫六百廿五匁を金一千圓にて買取りたるが之を知りたる前記俞鎭赫は前記鄭富烈に依賴し李より阿片卅匁を三十三圓にて又前記尹享求も同人に依賴し同廿匁を十八圓にて買ひ取り其後五月下旬頃尹享求、俞鎭赫、崔志弘、金雄、鄭富烈の五名は李秦鍾所持の阿片を詐取せんこ計り其手段こして紙片一束の兩面に二十圓紙幣一枚づゝを添へ恰かも二千圓の紙幣を一束にしある如く裝ひ鄭が之を携へ李秦鍾を或る所に呼び出し阿片買入れの談判を始めよき頃を見計らひ尹、俞、崔の三名は刑事こ僞りて現場に踏み込み李の所持せる阿片を押收せんこ企て計畫の如く鄭は李を某所に呼び出したるも生憎李は阿片を持參せざりしため目的を遂し得ず其後金雄は玉國寶より阿片煙購入を依賴され現金六百圓を渡されたるを以て同人は鄭富烈こ共謀し同月二日夜十一時頃李秦鍾をして慈仁の金祐瑛に阿片煙を携へて鄭富烈方に來らしめ金雄は鄭こ共に金祐瑛に對し阿片購入の談判をなし居れる處へ尹及俞の兩名が現場に入り口論を始め居たる際に金雄は其場に在りし阿片一貫五百七十五匁千四百廿圓に相當するものを携へて逃走し孫宗方に潛伏してゐたるが孫は斯かるものを何時迄此處に隱くは危險なれば京城に持ち行き賣り來り遣らんこ稱して密に之を携へ京城に持ち行き密賣の上歸來したる所を分隊に於て探知檢擧したるなりこ(大邱)

○惡戲から大事

◆四棟燒失人畜の死傷◆

平南平南郡漢川面二盛里五三四地農金炳勳方より去八日午後零時三十分出火し住家二棟倉庫一棟を全燒して同三時二十分鎭火したるが原因を取調べたる處同人の孫(二)が炊事場にありし燐寸を屋外にて弄び居りたるに突然發火し傍にありたる煙突に卷き付けありし藁に燃へ移りたるものにして其損害三百五十圓なり尙當時消防に從事したる消防夫一名は火傷し同家飼育の豚は燒死したりこ(平壤)

相場熟語解

(禁轉載)

ヲ オ

◇追敷(追證) 本證據金の半額以上の高下ありたるこき納入をなす證據金なり

◇大手筋 相場師中の有力なるもの又は大手

◇大引 其の日に於ける相場の最後の値段又前場の終りの値段をも大引こ稱す

◇押目 高き相場の時一時引落せる安値を狙て買を押目買こ稱す

◇思惑 將來の見込を立つる事、又思入れ

◇押す 下押すこ謂ひ下るこゝにして、世間往々上押すこ云ふ言葉を用ゆるものあれご『押す』こいふ語は下がる場合に限るを至當こす

筆者申す=本稿は十年程前に選びたる舊稿に多少の補訂を加へたるものなるが未だ不完全なる點多きを以て其後思ひ浮びたる場合は更に增訂すべく尙ほ大方識者へ本稿の誤謬及び不備の點を何卒指摘せられんことを切望す

朝鮮松丸太材(漢江流下新材)
長貳間以上五間迄
末口一尺以上二尺五寸迄　數萬尺締
鴨綠江材奔騰、品薄、輸送不如意の折柄需要者各位の便利と平素の御引立に酬ゆる爲め前記漢江新流下材(鮮人側)殆んど全部を買入候に付ては極薄利を以て如何なる多數の御注文にても直ちに貴需に應ずべく多少に不拘御下命の程奉願上候
京城岡崎町　㊇須川材木店　電話龍山四三四番　振替京城二〇九〇番
安東縣一番通り　㊇須川材木店出張所　電話四〇五番
●追而杉足場丸太多數持合品有之候

朝鮮總督府編纂　▲八十萬分ノ一縮圖　▲縱四尺五寸橫二尺五寸　▲折圖定價一圓　▲軸製定價二圓五十錢
朝鮮大地圖
本圖は總督府土木課の編纂に係り其正確なるは言を俟たず其最も特色こする處は道路にあり、卽ち鐵道、一、二、三等道路を既成未成に別ちて最も詳細を極めたり、又諸官廳所在地の正確なるは其誇こす。
發賣所　京城太平通二丁目　振替京城三〇〇番　電話長六〇〇九番　構內十八番　京城日報社代理部

金銀賞牌廿四個受領
タトへ億万長者でも
健康は絶對に
金では買へぬ
只每食前一杯づゝの美味滋養
蜂印香竄葡萄酒は
味つて見て下さい
メキ〳〵元氣健康を增進す
美味=滋養=濃厚　全く他品に卓越す

東京本町　近藤利兵衛

あつい暑い折柄
冬の御用意は如何です
昨年の暮から今年の二月頃の買附の
毛布類各種
多數到著いたしました一日も早くお買ひ上げを
お願ひ致します
お早い程御利益と存じます
一枚ツヾキ　六、七圓より三十圓　一組　四十圓以上七十圓迄
京城本町(電二三六)　塚谷洋品店　京城出張店
創業　明治五年　本店　東京神田南神保町

商況

東京期米特電
休會

兵庫期米特電
休會

大阪株式特電

銘柄	拂込額	十五日後場
宇治川水	五〇.〇〇	—
京阪電鐵	五〇.〇〇	…
東洋紡績	五〇.〇〇	二七.一〇
合同紡績	五〇.〇〇	…
鐘淵紡績	五〇.〇〇	二〇八.〇〇
同上新株	四〇.〇〇	二五五.〇〇
東洋製糖	五〇.〇〇	—
大阪商船	五〇.〇〇	三一一.〇〇
日本郵船	五〇.〇〇	一三三.五〇
同上新株	五〇.〇〇	…
常島米穀	四五.〇〇	…
東京株式	三五.〇〇	—
大阪株式	五〇.〇〇	一八〇.〇〇

大阪三品特電

十五日後場	
八月限	四〇六、八〇
九月限	……
十月限	……
十一月限	……
十二月限	……
一月限	三九三、一〇

大阪期米特電
停止

下關期米特電
停止

雜報

●**綿糸布小戻し** 十四日各地商況何れも堅調に陥り三品市場は昨十五日米棉一週 **八十錢高く** 材料にて漸次下げ見る模樣ひしめ前日前場は當限四百四圓 先限三百九十六圓八十錢にて戻し（後場）當限 **四百六圓八十錢** 先限三百九十三圓十錢 又前日綿布は入荷他に **三二銘** の午後綿布は **先物十三圓二十錢** より前日十錢方を引戻したり當市中取引は既に要進打ちさ見し各手筋共見遣り相場は **粗布三二エー** 當面にて **四百四十七圓唱へ** なるも實際賣買は之以下なるべし

●**正米無見當** 米市場は大勢が双方見合ひの所前週來今朝は從來の需給未だ掴れざる爲め引續き賣控へ見せず **混沌の裡に成行** 目 **傍觀しつゝ釜山市場** は昨十五日下押し入氣反なり **騰模樣** を移し漸く小底を見る **反**

人心の平穩に復したる後ならでは安心の平穩を期し難きのみならず内地正米も米騷動による恐怖心に囚はるゝやは知る事難かるべし米屋の側では買占めに對する世論の監視厳重なる米騷動の際に依り **一齊に恐怖的買控** を爲め昨今主要市場の在米漸減一方なるのみならず内地小賣米商の如き營業を休む向き少なからざる由なるが斯る現象は果して悦ぶべき事なるや今日の狀態が **米の需給上に如何なる影響を及ぼす** か思ひ到れば大に懸慮を要するものあるべし此會的制裁も時に必要なしとせざるも暴民と化し餘り過激に亘りては **自繩自縛** の愛に遭遇するに至らん此際官民共に力を併せ慎重に事を處して米價調節の目的を貫徹する事こそ必要なれ

●**洋鐵は強硬** 洋鐵界は我が製鐵所鐵材拂下價格不明のため目下幾分見送りの姿なるが米鐵は過般の再禁輸に依り殆ど絶對禁止となり内地の在荷拂底はいよ／＼甚だしかるべき事明かとなりたるにより製鐵所の拂下價格も必らずや相當の高値なるべしとの豫想の下に買進む者ありて市場相場は **最近約一割高見當** にして鐵中小物及び薄板鋼板等の造船用材料は需用旺盛にして在荷拂底のため著しく高唱へにして前月相場に比し一噸に付 **一圓乃至一圓五十錢高價** なり大物及八角鋼は相當在荷ありて市價多少落付居れども今日の所各種共一つに製鐵所の拂下價格によつて左右せらるゝものと見るを至當とす

●**鉛錫尚高見込** 目下鉛は在荷薄にて殆ど拂底なるが需要は增加の傾向あり錫にありても同樣在荷缺乏の爲め船腹に餘裕なく且つ **本國入電** によれば **安賣は絕對** に出來ざる模樣なれば我が國のみならず其他の海外に於ても一般に供給不足を見るべければ今後の當市場は愈々高値を唱ふる事ならんと見らる錫ホンコンの與地出廻り少なかりしも最近入荷あるは安値なりしが價格は昨今の入荷に依れば一噸二百五十圓見當にて本邦相場が海外の品物に比し安値なるべき結果に外ならずされど徐々品薄の成行は免れざるべく何れ

●**白米見送閑散** 白米市況は依然として殆ど閑散にて目下の形勢は別に大した變化なき商狀を續け居れり近日仁川より入荷あるを以て **一段高値** を現はすべし今日の白米相場は之以上に引下ぐる程の理由なく相場は **此儘見送る外** なきも **眼先一兩日** は保合なるべし

●**閑散裡に推移しつゝ** 賣行きは地場小賣屋等の需要少なく各地方の問合せは比較的少なきも各地の値段は **閑散裡に推移** しつゝあり

●**麥粉は低落** 麥粉は當地の需要は一時に激減して米商狀況急變に連れ一時は二十錢方奔騰を見し **當方の市中** も漸く二十丁内外に **引下げ** たり最近の入荷は約七八十丁見當なり

●**穀粉類昂騰** 穀粉類は何品に限らず氣丈の成行きにて **糯粉米粉** は騰貴し二十錢方の騰貴を見るに至れり浮粉も一等品・二等品共五十錢方騰貴せり

●**澱粉弱含み** 澱粉は一時騰貴を傳へしが其後漸落の傾向に至れり **北鮮物の豐富** なる出廻りに加へ **洗浦物の弗々出廻** りつゝあるを以て相場は十圓五十錢見當なり

●**砂糖弱持合** 砂糖は會社側手堅き態度なるも市中は賣引殘し不味なる相場は **ゼーの十** 圓見當弱含みなり

四圓六十錢 見當にて保合なる模樣

●**色物織布好調** 色物織布類は昨今引續き綿糸市況の好調に伴ひ各種共買氣旺盛にして最近は生地物に比較して相場引締まれるが如く内地方面の一等品一ヤール四十八錢二等品十三錢光澤天竺一反八圓九十錢見當にてポプリンは賣行き活潑にて七十錢乃至七十五錢を唱へ居れり

●**小賣白値下か** 白米市況は別項の如く現狀にて小賣値段も依然三十九錢の値にて据りつゝあるが一部同業者中にては世上の騷がしき狀態なれば値段の引下げを爲すべしとの意見もあれば或は此際更に一二錢方の値下げを斷行するに至るや測り難し

下關相場

▲朝鮮米は頗る不況 北後白米六十八錢の輸入に過ぎずして元來在荷多からぬのみならず産地の如きも輸出制限を云ひ出し内地の割りに安からぬ爲め輸入は其後別段思ひきつての投げ物現はれず米價の大勢に比し需要は何分内地米の如き鋭き發騰を呈し居るに拘らず益々品不足の形にて **▲大豆益々不況** 本品は前號以後全く不況を極め居れり人氣頗る不振にして只管買人の手控へ居る爲め用廻り途切れたる旣報の如く米價の大暴落を演じたる當時に相場頗る惡化を來したる矢先故近の入電によれば神戸着の七十圓五十錢を附せしも前途尙一段の安値を期待し居りて只管買人の手控へによるものありて尙先行は未だ別に好況を望み難し

▲小豆も不捌閑散 これ又正米の影響を被りてひたすら買人の手控へによりて市況閑散極めて人氣も又商内行はれずして人氣益々不況なり

▲朝鮮一等白米　三十九圓
▲同（當用）　四十一圓
▲京畿線大豆　二十圓見當
▲龍山大豆　廿一圓三十錢

各地商況

▲木浦米況（十三日）大阪市場は相變らず米騷動のため相場立たず無見當なるも政府の照電によりて各產地は大ズン／＼低落の傾向あり當市場は大波上記の如き成行きの所へ相場筋は依然として買控への爲め手持ち筋中買の壁に苦心しつゝあるもの多けれども尙人心恐慌にて千喉程の三等米取引あり値段は秘密に附せられたるも多分三十三圓見當ならんと想像されつゝあれど白米相場の如く安く賣相場も赤弱含みなるゆゑ目先矢張り軟弱なるべし

▲穀 本日は濟物浦二百俵内外ありたるも買人氣丸圓以内を唱へて手合出來せざりき

釜山市場（十五日）

▲玄米下落 彼の押目知らずの狂騰時代より俄然反動期に入り十日以來下落歩調となりて日々二四圓乃至二圓だしきは四圓と棒下げを續けて高値時代よりは十五圓方も下戾した氣配じたる當地米界にありては此の餘りの下落續きに昨日は一寸呼吸戾し前日に反し反落に向ひ居れ高値の反動と合目的反撥力を現はして依然強硬の商況なり

▲肥料の況 魚肥は前報後頓と前八十五木筑前カナギ平か三百木の輸入に過ぎさるのみならず旣報の如き各地の商況の下に各手持筋の安くは手放さゞるに依り共後別段人氣狂はず然れども何分米價の大奔落と同時に他品も大不況を呈し居る折柄とて自然高値は買進み兼れたる状勢ゆへ更角賣れ行き捗々しからずして相場は八圓五十錢乃至六十錢位の上品三百本許りは六圓六十五錢等に手合せ行はれたり

市場雜觀

▲昨後場は遂に相場不申に散會したり見て本日も二時過ぎより解合問題に就き取引所樓上に仲買人總會を開催し遲議したるも總解合として仲買の運びに至らず從來の解合する事に決し四前頭解散したり▲總解合意起りてより各當解合中絕したるも前夜來の暴風雨にて電信不通となりたる爲め此際解合するの外なからん▲當地に五日の十五日に如何に決するか南朝鮮は依然風雨よりて遂に朝鮮に於ては別段の效果なく之が爲め相場は昨日より益々强氣を呈し居れり

十六日前場
（新規賣買停止）

▲第一節　中先共出來不申
▲第二節　中先共出來不申
▲第三節　中先共出來不申
▲第四節　中先共出來不申
▲第五節　中出來不申先二十六圓六十錢にて角大賣買二百石の解商內行はれて散會

仁川期米

仁川正米

▲穀の入荷昨朝來の暴風雨にてなし

▲正米は依然休業狀態なると昨朝來の暴風雨にて商談行はれず無見當の裡に見送り居れり

生魚市場

京城日丸市場 夜來の豪雨にて鐵道線路故障の箇所ありし爲め本日の延著は少數の仁川物のみなるを以て氣配は非常に高模樣なり
仁川たい六〇▲ひらす二二▲さわら二五▲すゝき二八▲ひらす二二▲めじろ二〇▲ぴらめ一〇▲さわび四五

仁川米豆取引所仲買人
仁川港仲町
電話長一〇三番
齋藤榮之助

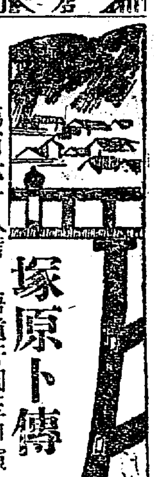
北濱たより

▲**相場は手樫い** 米騷動に氣を取られて買物の入込まぬに反して賣物の出廻りつゝある割合に相場の手際いのは買方は時局關係に用心を加へて腹一杯に買ふて居る向なく從つて軟調にして突然々加へぬならば之を買拾はんと待ち構へ居れり或は買進ふよりも寄玉を手詰むる爲めの打算にするのある爲めに人氣は弱くして而かも相場は割合に下げ難いのであるが此の騷動にして遂く終熄を告げるならばよけれども次第によっては下からぬまでも上がらぬであらうから買ふにして今少しく形勢を見定めて買ふも遲きにあらざるべしさつて相場も捗々しき回復も告げ難く保合の範圍を脫し難いであらうかと觀測せらるゝのである

▲今前場も解商內附け出し少數であつた七川放資行の第用しは朝來の大雨なりしにも拘らず初日同樣の大盛況であつたとの事

せざる場合に在りても必要に應じ公安維持上之を中止せしむる様從通知を加へ積極的手段を以て防遏を期する事▲其他小賣商人に對したる適用し以て米の買占め思惑なり要する處とを保安規則を適用し此の如き取締るは時節柄當の處置と思はれる今後米商人は大に留意せざるべからず果して此取締法が如何なる場合に適用せらるゝや注目を要するものあらん

御賣買ノ御用命ハ至急御申越被下度候
仁川米豆取引所仲買人
田中金兵衛商店
仁川海岸町三丁目
電話長三六七番



塚原卜傳

第百六十八席　悟道軒圓玉口演

さて永々申述べました塚原小太郎の傳記も追々結末に近付いて參りまして岩成主税之助左近を淀の城に攻めて之れを討亡ぼすといふ眼目の處へ參りましたが之れは戰爭のお話でございますから餘り讀んでも與味がございません、昔の講釋師はよく修羅場といつて合戰の有樣を見て來たやうに喋舌り立てましたが今は語りませんから誰でも讀ない、一騎戰ひは殺伐なものながら讀む人も自然氣が立つて來る此講談を讀んでから人を矢鱈に毆るやうになつたといはれては申譯がございませんから大略いたして申上げますが、岩成の宿將柴田、佐久間、細川兵部大輔、山名監物等を先途と淀の城へ取詰め、堀を立つて攻め掛かる、城中にも豫て期したる事なれば岩成主税助は名に負ふ、織田家の猛將攻城野戰に經驗ある古兵なれば臆せず怯まず攻め立て／＼來る寄手に泉州堺より取寄せたる大砲を城内へ釣瓶掛けて打込だれば見る／＼中に火災を起し城兵は之れに氣を挫かれ防戰叶はず引退ぞく塵を得たりと寄手七千餘人一度にドツと鯨波を揚げ八方の門を打破つて城内へ乘入る、中にも塚原小太郎勝義に於ては卯花縅しの大鎧同毛の兜鍬形打つたるを眉深に着なし、左女なる駒に白覆輪の鞍置いて打跨がり、槍を馬の平首に引付け、大手の門内へ馬を乘進め、向ふ者を左手馬手に突伏せ叩き伏せ、縱横無盡に働きまする其勢ひ宛然阿修羅王の荒れ出たる如く、城兵此槍先に仆るゝもの數を知らず、是非共主税助を刺止めんこゝあつて本丸の方へ乘込まんで參りました、然るに岩成左近本丸の櫓上より此體を見て『左ヤレ者共寄手の人數の眞先に立つたる若武者は當時日本随一と呼れし塚原勝義なるぞ、汝等數十人駈向つたりとて之れを討たん事叶ひ難しイデ左近が一働きして勝義の首を打落し吳れん、汝等それにて見物せよ』と黑絲の大鎧に身を固め冑は被らず亂髮に白布卷んで鉢卷なし三尺六寸の大刀引拔き、馬を躍らせ驅向ふ勝義之れを見て『ヤアヤア如何に左近、イデ見參へ赴かせん』と槍を投いて同じく馬を進め、討洩し遣恨今に遣る方なし、先年は汝を斬り立て逃がしたるも今日は此上は遁さぬ、此槍の穂先に貫いて前將軍へ手向け奉る覺悟をせよ』と大音に呼ばはつて只一突と繰出す槍先、岩成カラカラと打笑つて『左樣青き小太郎、壁の上の水練劍術、戰場往來の左近に向つては此に等の眼は取らして遣はす、觀念いたせ』と言ひも同然、不側なれども此世の暇乞同じく振り太刀打揮つて人交もせず十二三合渡り合つた、仲々此岩成といふ奴も出來る男で、されども勝義に遇つては固より敵し難く次第／＼と受け太刀になり跡へ／＼と退るを勝義透つて突出す槍に如何にしたりけん石垣へ突當て穂先を突折りました、岩成茲ぞと付入つて一刀眞向より打下すを馬上ながらに身を交し、太刀へ手を掛け拔く手を見せず、横なぐりに拂ひ上げたのが美事に岩成の右の腕を肩の付根から鎧の袖ぐるみ打落しました、大剛の主税之助も大事の痛手にアッと一聲、馬より逆さに落ちる、所へ細川の家來伊藤内藏といふ者走り來つて、マンマと其首を打落して小太郎に助勢いたしました、小太郎大に喜び『岩成を討し功は御邊に讓る』といつて其首を據内に與へましたが實に小太郎の働きは敵味方の目を驚かしました數で淀の城も落城いたし、敵將の一人細川丹波は山名監物が討取りました、之れは義輝公を手に掛けた奴であります、諸將勝鬨を揚げて引上げる。

外科一般　皮膚科
泌尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一九番

皮膚科　京城太平通二丁目
外科　**扇田醫院**
電話二三五八番

（雜　抄）

圖九星運氣考（九月）

◇一白　此の月の運勢は俗に云ふ八方塞りといふのですが此の月は一白九星の一白中宮にありて他の八星を指揮すると云はれる程いよい樣になつて居りますから決して心配することは有りません

◇二黑　此の月の運勢は不運であります重なる事は二日十一日廿日、廿九日におやりなさい

◇三碧　昔に新頭にない幸運月で如何なる大望も小事と化し幸ひに到る所に働くと云ふ喜び月です何事も充分腕を揮つて奮勵しなさい必ず成功する事が出來ます

◇四緑　近來に無い幸福な月です萬事に充分活動しなさい必ず大成功が得られ

◇五黄　至極平穩な月です怠らず活動すれば決れて失敗する事はありません

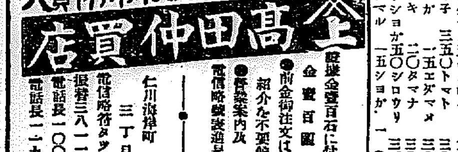
◇六白　不穩であります萬事に注意して奮闘しなさい此の月は結婚によい月ですから此の間に外づさぬ樣になさい

◇七赤　非常に幸運月です何をやつても成功しますから充分に腕を揮ひなさい新事業開始披露何んでもおやりなさい結婚にもよい月です（續く）

暦

八月十八日九星　舊七月十二日丁酉　本命六白乾除赤口

▲六白　口先上手の事有り日新事見合商方は吉師匠の事有り▲七赤　自由新求職建新金換金仲裁▲八白　名引求職日轉居開業移轉新受孕女子の獨立自禁藥販賣吉▲九紫　難の目新事有▲一白　を剖る事口に妙也の事有り日新事有▲二黑　藥用は吉小見に生木雅往是　金融婚約日轉居商出　迎間の目軽居商出店求職▲三碧　入門　弘　鬼▲四綠　けん問な目新事手の事有り新事手控　商事は吉一切のかけ事禁▲五黄　大宮の日轉居開業旅行出引越の親入り事なり吉に勝の日



株式會社仁川米豆取引所仲買人
金高田仲買店
仁川海岸町
三丁目
電信略符タツ
振替三八一二
電話長一〇〇九
●證據金壹百石に付金壹百圓
●前金御注文は紹介を不要候
●營業案內及電信略號表進呈

白米小賣値
一等白米　三十九錢
二等白米　三十八錢五厘

白米標準値
三十八圓

青物小賣値
ホウレンソー一五〇　ナガイモ一〇〇
シシトウ一五〇　ツクイモ二〇〇
チサ一五〇　トウガン四〇〇
ナツバ二五〇　ナンキン三〇〇
ミツバ一五〇　ニンジン二五〇
カイワリ三〇　ゴボウ三五〇
トノイモ一〇〇　ダイコン三五〇
ハスイモ五〇　ナス五〇
コイモ二〇〇　キウリ一五
サヽギ二五〇　チギ二五
フツマメ六〇　タマチギ四五
インゲンマメ五〇　バレイ二五
ユウマ子三五〇　トマト三〇
ショウガ一五〇　エダマメ三〇
ワケギ二〇〇　タマナ三〇
シンショウガ五〇　シロウリ三五
ハナマル一五〇　ショウガ一三〇

仁川米豆取引所仲買人
仁川港仲町
電話長三〇〇番
今村覺次郎

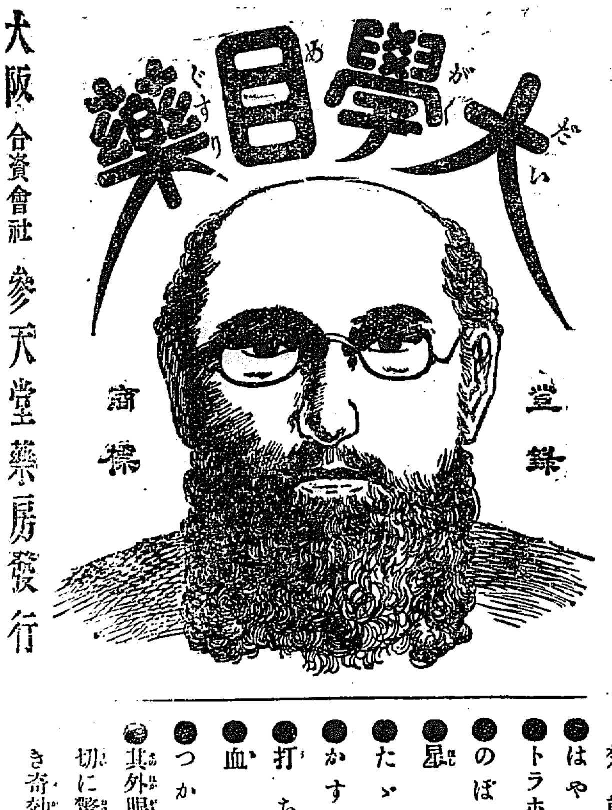
晴天各地今日休會と報じたり
昨兵庫發電 報に依れば前九時過ぎより取引所樓上に仲買人集會を催し解合問題に就き評議しつゝあるも未だ具體的成案なきも如くなるも何れにしても内鮮共米價大暴落の場合結局解合の外なからんと觀測せられ居れり▲事務局は遂に如何を取締る事となり名道當務部に通知を發したるが商左に十五日夕刊に記せる事は其程度に至らざるも前述の相場變動を見こしし比較的多量の買付を爲さんとする者に對しては保安規則其他關係法令違反の事犯と構成

株式會社仁川米豆取引所仲買人
倉庫業
電話番三一〇番

○いろは出ます頭つてためて下さい○

いろは金言カード

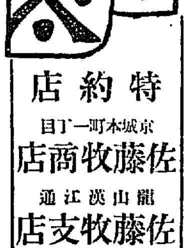
い　親程親を思へ（古諺）
く　快樂は之を貪れば之を失ふ（西諺）



サスガは大學 見事に治る

效能
●はやり目
●トラホーム
●のぼせ目
●星目
●たゞれ目
●かすみ目
●打ち目
●血目
●つかれ目
●其外眼病一切に驚く可き奇效あり

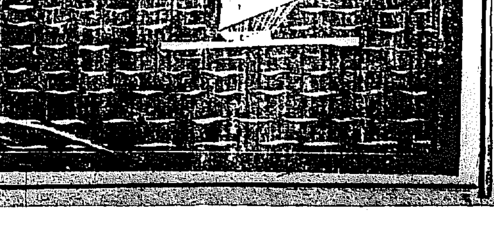
大阪 合資會社 參天堂藥房發行



淸新無比
著荷早々の
さはのつるヲ
召上レ

特約店
京城本町一丁目
佐藤牧商店
龍山漢江通
佐藤牧支店
龍山陸軍構內
佐藤牧用達部

涼味
夏のお料理を
美味しくする
味の素



京城日報

第五版

[illegible]れば前途を[illegible]を經過せざる限り現状を持續するの外なかるべきか固み最近一週間傭船の成立せる[illegible]

○製粉依然崩落

米價並に小麥の頑强に伴れ買氣[illegible]々微漸と騷がしこうたり連續的暴騰[illegible]

[illegible]により幾[illegible]までの低落を見越し[illegible]の引返み[illegible]は神戸市場正米五七圓安の入電に[illegible]々不勢[illegible]て小麥の四升二三合見當に崩落せ[illegible]したるより又々[illegible]五十錢見當[illegible]は强硬にて市場は[illegible]までの引返しを演じたるも大勢は依然不勢にして十日夕刻には五圓[illegible]

▲空賣の穴埋買[illegible]も見越さる[illegible]

▲物議の折[illegible]

露國の戰時財政

(八) 政財と革命 (二)

戰爭の如く國立銀行毎月平均紙幣發行高は革命以來著るしく增加し革命前の二倍半强に膨脹せり即ち國立銀行紙幣發行高は開戰以來革命に至る二箇年半に於て八十億留を增加せしも革命以後僅に五箇月間に於て更に六十億留の擴張を見るに至れり是一に國庫財政の必要に出たるものなるを思へば露國財政の窮迫思ひ半ばに過ぐるものあらん將來如何なる趨勢を以て推移せば露國の財政は遠からず破産するに至るや明かなり國立印刷局は歐洲戰爭以來極力設備を改善し人員を增加し製造能率を高め開戰當初に於ける七百人の職工を漸次增加して現在にては八千人以上を使用し戰前一日の紙幣印刷高二十萬留乃至三十萬留なりしを革命の成立と共に其の發行は一千八百萬留に增加し一九一七年五月に至りては三千萬留同六月五千萬留と漸次其の發行高を增加するに至れりされば約二百種の紙幣用紙は日々紙幣に印刷せられ紙幣[illegible]は晝夜の別なく終日間斷なく運轉し凡ての職工は四六時中一瞬時の休息すらなく勞働に從事して漸く一時の急場を糊塗しつゝあるに拘らず地方に於ては尚紙幣の不足を感じつゝある有樣なり要するに今次の歐洲戰爭は露國の財政を破壞し革命は不必要なる新施設に巨額を投じ兩々相待つて遂に露國を根本的に破産せしむるものと謂ふべし

結論 (一)

帝制政府は彪大なる財政的遺産を殘して潰滅せり實に帝制政府は國庫の財政を改善するが如き方法を講ずることなく盲目的に戰費を浪費し姑息的に新税を起し舊税を增し主として一般國民の負擔に係る間接税の增徴を行ひ從來の範に則り資産階級に輕く下層階級に重く非常なる高價を以て軍需品の註文をなし徒らに一派の企業家に不當の利得を與へ國家の負擔を重くする等凡ゆる失政を行へり其の公債を募集するや豫期の成果を收むること能はずして全く不成功に終りたること稀からず而して遂に帝制政府沒落革命政府代りて政權を掌握せるも亦何等の改善を見ず寧ろ多くの場合に於て舊政府時代に比し退歩せるの感あり即ち諸税の徴收は革命政府に至り確實に行はれず或る者の如き「自由」の意義を國家に對する諸義務の解除と曲解し納税を肯ぜず國民は徒らに權利の取得に擢躍し增給を强請し勞力を節減し國家に對し果すべき責任を回避するの有樣を呈せり茲に於いて新政府は一日も速に國庫の財政を整理するの急務なるを感じ一九一七年三月其準備に着手し四月先つ自由公債の發行により財政整理の端緒を開かんことを決したり即ち政府は此の新公債の發行をして既發軍事公債に比しより多大の効果を收めんことを期せるも而も結果は豫想に反し七八月頃に至り辛うじて三十億留を得たるに過ぎざりき是れ自由公債發行主意の國民に貫徹せず且つ其の募集開始の當初一箇月以上中央勞働委員會に於て之が募集に對し何等の援助を表示せざりしが爲民主社會黨に應募少かりしが故にして同公債に對する過激派の悪評亦自由公債募集に對し一層大なる支障を與へたり試に自由公債及び一九一六年末に於ける軍事公債の各最初七十日乃至七十五日間に於ける應募成績を左に比較せん(單位百萬留)

種別	國立銀行金庫其他	私立銀行	貯金局
一九一六年發行第二回軍事公債	一九七、三	三四〇、〇	三六八、四
一九一七年發行自由公債	三六八、九	九六六、九	三二一、六

右の如く發行初二箇月半に於ける自由公債の應募高は資産階級に屬する人士の比較的多く出入する國立銀行金庫及び私立商業銀行に於ては軍事公債に比し七億五千九百萬留の超過を示せるも一般國民の廣く利用する貯金局及び小金融機關(金融組合、貸付貯金組合、相互信用組合其の他)に於ては軍事公債應募高に比し二千七百萬留の減少を示せり由是觀之資産階級に屬する人士は一般國民に比し早く新政府を承認し之に對し援助を與ふることを證するものにして一般國民は新政府を認知すること遲かりしも後に至り漸次自由公債に對する應募高の增加を見るに至れり

外米管理と時局

臨時外米管理部長 片山義信氏談

十三日午後六時片山外米管理部長は十二日來の各地米高より來れる騷動に對する政府の態度に關し左の言明をなせり(東京支局)

今回指定商鈴木商店が神戸に於て不幸に遭遇するに至りたるは實に遺憾に堪へざる所なり各指定商は外米管理に付いては誠心誠意政府の意を體し利害を離れて盡瘁今日に及び而も鈴木商店の如きは三井物産と同じく自己の持船を有するが故に他に利用すべき利益を犧牲として船線を爲し與れたる事[illegible]朝鮮米に付いても亦十分自益を計らざりしことは當初より一貫し來れり然るに十二日夜の如き事態に遭遇せしめたるは此上なき遺憾なり加ふるに書類の燒盡したるもの尠からざるべく殊に外米に關する帳簿及び註文等の書類燒失したりとせば外米管理の運轉上至大の不便を生ずるは勿論各地よりの多數註文者に對し外國米の配給を爲すの手段なきに至るべく即ち米價の低落を圖る手續上至大の支障を醸したるとこなり實に遺憾に堪へず米價の低落を希望する向ならば却て外米管理に故障を生ずるが如きことなからしむることに社會一般に注意を望み居る位なるに急旅行を要するが故に汽車を遲しとして鐵道線路を破壞すると云ふに類することあるに至りたるは實に遺憾に堪へざる所なり

外米管理の經過

▲買入の數量　外米管理制度實施後今日迄に買入れたる外米は三百萬石を下らず(三百萬石を超ゆる數額に付いては交渉中に屬するものあるを以て數字に依りて公表する程度に遲せず)而して之に朝鮮米十二萬石を加ふ

▲買入の方針　右の約三百萬石は船線の都合、産地精白工場の工程、價格等の關係上漸次に買付を爲し且漸次に輸入の目的を達するの方針を執り來れり

▲輸入濟數量　右の三百萬石の內約百五十萬石は既に輸入濟となり今後輸入すべき分量は八月中に於て約七十萬袋(約五十萬石)九月中に到着すべきもの約九十萬袋(約六十五萬石)にして殘餘の五十萬袋(約三十五萬石)は大體十月に到着する見込なり

▲外米の配給　然るに最近米價奔騰し外國米の需要頓に激增を來し輸入品を以つて到底需要を充たす能はざる狀況を呈するに至れり而して外國米の配給に就ては當初より公共的申込を第一順位に置き始終一貫此の方針を持續し來りたる處最近に至りては此の公共的申込のみに對してすら滿足に供給すること能はざるに立至りたるは實に遺憾に堪へざる所なり

▲配給の調節　米價奔騰の勢ひに伴ない金澤市を先驅とし大阪東京京都名古屋等の大都會に於て公共的施設を以て小賣的販賣の擧を見るに至り而も他方商業會議所、農會、産業組合等の註文各指定商に[illegible]間に配給すべきやを[illegible]るの狀況を呈するに至[illegible]に於ては各指定商[illegible]の狀態に於ては[illegible]政府の方針を遵守し配給を爲さしむるも可なりと雖も右の如き狀況の下に於ては指定商も配給の取定めに困難を感じ又各指定商間に統一を爲すこと困難にして爲めに甲地方には外國米偶然に集合し乙地方には供給甚だ薄きが如きことなきを保せず萬一此の如きことありては甚だ遺憾なるを以て今後は一定の方針の下に第一次に指定商に公益的性質のものと其他との區別を爲さしめ更に當部に於て之を統一的に調査したる次第也

鮮米買入と方針

五月末頃に於ける朝鮮米の移出餘力は約四十萬石の見當にして而も船腹の缺乏汽車運輸の困難等の爲容易に內地に移入せらるること能はざる狀態なりしを以て政府に於ても朝鮮米の移入を圖るを得策とし之に着手せり鈴木商店に命じて朝鮮米を買入れしめたる條件中重なる事項左の如し

(一)手數料は一石三十七錢五厘(一擔十五錢)とす

(二)鈴木商店が朝鮮米の買入及び賣渡に依りて萬一損失ある時は政府之を補給し利益を生じたる時は政府之を取得す(政府の取得したる利益は外國米に支拂ふべき補給金に充當する都合也)

(三)朝鮮米の賣出價格は政府之を指定す(一石三十七圓と爲したるは一般商人の朝鮮米移入を促進し且朝鮮の市場に影響を及ぼすことなからしめむが爲なり)

(四)政府の發表する迄秘密を守るべし

大阪に於ける朝鮮米は全部鈴木商店より大阪市に玄米一石三十一圓五十錢を以て賣り渡されたり(此の値段は市の白米小賣値段の變動に伴ない上下する條件なり從つて目下小賣値段を三十五錢となしたるに因り大阪市への賣渡値段は玄米一石二十九圓五十錢となりたる譯なり)

▲當局の希望　八月九月の外國米の到着見込表左の如し此の如く漸次に輸入し來る次第なるに各地に於て成るべく多量の外國米の配給を受けんとする向あるが如く中には一團體の一年分の飯米としても餘剩を生ずるが如き數量を註文し來る向もなきに非ざる形勢なり希はくば世間に於て漸次に輸入し來ることを諒とし一時に多量の外國米を自己の手に納めんとするが如きことなき樣希望に堪へざる次第也

▲橫濱揚

日付	船名	國類	袋數
八月中旬	前安	闍貢米	二九、〇〇〇

[illegible]

同	蛯老	同	二九、〇〇〇
八月廿日	桃岡	西貢米	四〇、〇〇〇
八月末	大多	同	三七、〇〇〇
同	ボルチナ	闍貢米	三〇、〇〇〇
同廿六日	榛名山	同	四一、〇〇〇
同廿六日	淀	同	三〇、〇〇〇
同末	士多聞	西貢米	四〇、〇〇〇
九月二日	松山	闍貢米	三〇、〇〇〇
同中旬	安陽	同	二六、〇〇〇
九月五日	海王	闍貢米	二四、〇〇〇
同	美代	西貢米	二九、〇〇〇
同廿三日	八幡閣	闍貢米	三七、〇〇〇
同末	那天丸	同	二〇、〇〇〇
同	武州	同	三五、〇〇〇

▲神戸揚

八月十五日	平和	西貢米	二四、〇〇〇
同十六日	福一	同	二六、〇〇〇
同廿二日	以智	同	一〇、〇〇〇
同廿七日	浦賀	同	四、〇〇〇
同下旬	大維	闍貢米	八〇、〇〇〇
同	多摩	同	二四、〇〇〇
同	淡島	同	二五、〇〇〇
同下旬	ボルチナ	闍貢米	二〇、〇〇〇
同卅一日	神王	西貢米	二六、〇〇〇
同	吉代	同	一七、五〇〇
九月初旬	廣東	闍貢米	二八、〇〇〇
同五日	越後	同	三〇、〇〇〇
同上旬	最上	西貢米	二七、〇〇〇
同十日	南京	同	四〇、〇〇〇
同十六日	第二英	闍貢米	二九、〇〇〇
同二十日	嚴島	同	四二、〇〇〇
同	浦安	西貢米	二九、〇〇〇
同廿三日	天王	闍貢米	二九、〇〇〇
同月末	神明	西貢米	三〇、〇〇〇
同	安心	同	一五、〇〇〇
同	越後	同	二九、〇〇〇

▲伊勢灣揚

八月廿五日	南京	西貢米	四〇、〇〇〇
同廿二日	泰陽	闍貢米	三二、〇〇〇
九月廿日	幸老	同	三二、〇〇〇
同中旬	發老	西貢米	二八、〇〇〇
同廿四日	日州	闍貢米	二九、〇〇〇

▲門司揚

八月廿五日	敦賀	闍貢米	二一、六〇〇
同廿日	海城	西貢米	四五、〇〇〇
九月上旬	天津	闍貢米	二八、〇〇〇
同十二日	三島	同	二〇、〇〇〇
同十六日	東和	西貢米	三九、〇〇〇
九月廿日	泰平	闍貢米	三六、〇〇〇

▲長崎揚

八月廿五日	安心	闍貢米	一二、九六〇
同廿七日	壽共	西貢米	二〇、〇〇〇
月廿日	三池	同	四五、〇〇〇

▲三池揚

九月一日	隆昌	闍貢米	三五、〇〇〇
同五日	高龍山	同	二五、〇〇〇

並行線 (五十七)

瀧閑村

生ける屍に愛のあらう筈が無い若し愛の無いのを夫婦と稱し離ければ、自分は單に同居と云つてもいゝ、離縁されることを望みはしないけれども、離縁されゝばそれも仕方は無い。

『それにしても池谷さんは、さうして暮してゐらつしやるだらう』と思ふと、過ぎし日の靜岡驛の事が直ぐ頭に湧く。危いと引止められなかつたら、私は窓から飛出したかも知れない。飛出して列車に轢かれでもしたら却つて幸ひだつたかも知れない。併し池谷さんに逢つたのは束の間、一言も交す間も無く別れてしまつたのだから、池谷さんは嘸賴み甲斐の無い女、無貞操な女と思はれたのだらう、さう思はれ、さう恨まれることは甘んじて受けねばならぬが、斯うして身を棄て、親に盡してゐることは御承知あるまい。

自分はモウ灰である、燃た昔の色も熱もモウどこにも求むべき由は無い、運命だ。

『こんな事を考へたつて何うなるものか。』と打消した。

時計が一時を打つた。

靜子は再び、先きの續きを讀み始めた。

暫くして俥が停まつたと思ふと門の潛りのベルが破れるやうに鳴響いた。靜子は彈かれた如く立上る拍子に

『旦那お危なうございます。』

『大丈夫だ、大丈夫だ、オイ放せ。』

『眞個に大丈夫ですか。』

ドタンと人の倒れる氣勢がした

『ソラ云はないこつちや無い、旦那。』

と云つたが、[illegible]に

『お歸り。』と叫んだ。

靜子は上り框から下りようとする時、硝子格戸がけたゝましく開けられて

『大丈夫だッたら、モウ歸れ』

高山は醉つて蹌がるやうに入つた。

『お歸りなさいまし。』と手を捉て引上げて、

『車夫さん御苦勞樣。』と慫つて返した。

高山は上り端にグッタリ腰てしまつた。

『貴郎、彼方でお寢みなさいましな。』

と引起さうとすると、起てそこへ坐つてしまつた。

『寢たけりや、勝手に寢るがいゝぢや無いか。』

と眞赤い顏で四邊を睨はして

『誰も起てろと、頼みやしないのに恐聞く云ふな、面白くも無い。』

チョッと舌打を一つして、

『ヘンお前は貞女だよ、俺には勿體ない、罰が當らア。』

古釵　安東　翠雲

浮雲掩月影朦朧。煙雨漸深春夢空。便底幾年人不顧。古光藏生匣中。

學鷗曰　多少感慨。

夏初湖上　竹田　蕉雨

一鏡晴湖疊細漪。淡煙堤上柳絲垂。雲間細雨山光潤。水面無風荷影披。同棹遊歌高唱處。引杯茶底靜吟時。興襟洗盡與無限。暮色若爲總不知。

學鷗曰　蒲空一氣、烟霞意遠。

古釵　江原　如水

古釵經歲代。珍重不知時。蟠戲珊瑚樹。簪翻琥珀枝。曉雲横綠鬢。殘月挂低眉。一出狹斜巷。千金爭購之

學鷗曰　儁麗宕絕、含蓄無窮。

夏初湖上　齋藤　三寅

翠烟楊柳裊。雨過舜光新。綠樟先離俗。澄波不畦塵。花平花月奥。淡與鷗鷺親。猶未脫塵客。

學鷗曰　情景奈到、後聯殊可誦。

夏初湖上　中西　古竹

雨霽湖光淨。花飛樹色鮮。同舟紅友在。近喚白鷗眠。魚躍觸輕棹。風薰勤細漣。斜陽颯颯還。雲際望啼鵑。

學鷗曰　夏初風光、幽淸入詩不見些陳影

雨後得月　大石　松逕

淡水潺湲夜寂然。雨收林外響嗚咽。雲間忽湧一輪月。的皪淸光照滿天。

學鷗曰　幽邃之至

洪川地方金融組合登記事項中變更
一、定款ニ因リ目的第九項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ
一〇、組合員ニ非サル者ノ預リ金ヲ爲スコト
右大正七年八月拾參日登記
京城地方法院 洪川出張所

[illegible]谷山地方金融組合[illegible]黃海道谷山郡谷山面[illegible]參拾六番地[illegible]
右大正七年八月十三日登記
海州地方法院 谷山出張所

一、敷地金壹萬八千五百坪
一、建物拾參坊
右賣却ス詳細ハ八月十七日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

玄米 精米 購買 龍山陸軍倉庫
詳細ハ八月十七日以後ノ朝鮮總督府官報ニアリ

鯨 尾羽毛 皮肉類 大販賣
夏季の刺身代用品に最も適當
東洋捕鯨株式會社特約店
鯨問屋 香月商店
京城明治町二丁目 振替口座四八四六番

池田式製繩機

特約店募集 說明書進呈
製繩機 構造堅牢 耐久 運轉輕快 製繩良好 使用簡易 自由
稻扱機 同一時間の稻扱一町步
各種製繩機 稻扱機 製造元 大阪東區京橋三丁目六 池田本店

朝鮮總督府編纂「最新刊」
東部 西伯利地圖
定價金參拾五錢 郵税二錢
部數僅少品切れとなるの恐れあり至急御注文被下度候
發賣元 京城太平通 京城日報社代理部
電話長六〇〇番 振替京城三〇〇九番

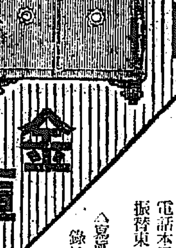
財團法人 電機學校 生徒募集
■豫科一期二期(晝)本科一期二期(夜)選科(晝)選科(夜)高等科電氣化學科
■校外生(特殊の通信教授)(普通の通信教授)隨時入學許す
■入學申込九月末限 規則書申込次第送る
■東京市神田區錦町三丁目 電話本局三二五、七九八、五一三〇

株界のバロメートルは？
戰勝の要諦は兵力の一點集中にあり株界の優勝又然らざらんや今株界のバロメートルは押目買を示す▢發會以來常に買のみに依り每回年七割乃至八十割の好配當をなせるが故に過般第七回組織に當りても亦參加の士翕然として稀有の盛觀を呈す而も尚參加漏れの聲あり茲に廣く江湖の眷顧に酬ゆべく次て第八回組織を宣す。
■加入金 一口金五十圓 ■申込期間 八月三十日
日本信託商會證券部
第八回 同 株式 東新新 商船新 買同氣會
會則贈呈 大阪市北區堂島濱通一丁目二 電話北長九七二・振替大阪四〇五六九

宮內省御用品の高價は既に社會に定評あり種々の名稱を附したる類似品多し本品の軸部には SWAN の英字刻印押捺せり
到る所の文具店に販賣 中買入の御便な時は最寄販賣店に御用命 日本總代理店 大阪東區平野町一丁目 スワン大阪出張所

盤若の如き
強健なる體軀を見よ!!
是れ皆朝夕の一杯は百藥に優る
美味滋養の葡萄酒
赤玉ポートワインの
偉大なる賜!!

夏の今
特に斯の如き人は
赤玉ポートワインを召上れ!!
■夏痩する人
■食事の進まぬ人
■元氣衰退の人
■病氣保養の人
■疲勞する人
キツト利目がある

國末式ベント金庫

進歩せる學理と最新の機械力とにより製作せられたる國末式ベント金庫は人爲的破壞は勿論猛烈なる熱火と重量物の壓擊に無限の抵抗力を有するは國末式ベント金庫の本領とす
內閣諸官省御用 金庫製作所
國末金庫店
東京市日本橋區通四丁目 電話本局三八五番 振替東一九九〇三
◇高貴入商品目錄は御報次第進呈仕候

瓦斯管
合資會社 南方商店
京城南大門通二丁目

謹告弊社儀今般棉糸布商同和棉行の營業及び權利義務一切を繼承致し誠實を旨とし勉勵可仕不相變御眷顧の程奉願候敬具
大正七年八月十七日
(本社)釜山府本町四丁目廿五番地
輸出入業並代理業

田中善株式會社
大連、京城、奉天
(支店出張員)(京城出張員) 京城府本町二丁目卅四番地
(營業要目)絹綿毛麻各種纖維工業品其の原料品及雜貨並に特種産物の輸移出入一般代理業

無形の效果偉大
聯軍敵壓迫＝マルヌ危機去る

アミアン方面の英佛軍は逐次敵を壓迫し十一日迄にモランラールより數地を經てエリンクールに亘る線に進出し俘虜二萬五千大砲五百門を鹵獲せり尚マルヌにては獨軍失敗以來聯合軍の危機去り最近の戰勢は無形の效果偉大にして英國内に於ける講和風は全然其跡を絶てり(倫敦電報)

獨ムルマン方面處理

獨逸は其の後援を頼める芬蘭に五萬の兵を有し尚芬蘭兵三十四萬を得之れにてムルマン方面を處理せんとするもの〻如し(倫敦電報)

最近敵俘虜八萬人

倫敦タイムス記者の計算に據れば七月中旬より聯合軍の獲たる俘虜は七萬乃至八萬にして獨軍の損害は三十五萬囘を越ゆ可しと信ぜらる(倫敦電報)

英佛市場好況

在倫敦森財務官より藏相宛報告左の如し(東京特電)
西部戰局の發展は英佛市場に顯著なる好影響を及ぼし株式は一齊に昂騰し露國證券も好況を示し佛國政府四分利付ランド公債は始めて發行價格を突破し値七十、六五に躍進し此現象は多分本年末發行さる可き新長期公債に至便を與ふるならん近時、防證券の賣行良好にして政府の需要を充し國内銀行政府貸上金の增加を見ざる狀況にあり尚八月一日濠洲聯邦は倫敦にて新公債發行の筈なり

英飛行機埃及著

英國公報＝陸軍將校二名は通常型大飛行機に搭乘し英國出發途中石油補充の爲め二回著陸し無事埃及に到著せり(倫敦電報)

獨大使莫市逃亡

獨大使ヘルフエリヒ莫斯科に赴くや過激派の勢力既に傾けるを見て自己の生命を危懼し大使館員に先だち莫斯科より逃亡せり尚新聞紙は報じて曰く『露都及び莫斯科は大砲、機關銃を備ふる警官軍隊に依り物々敷く警戒され今や クーデターの勃發所に歴然たり』(ロイテル電報)

物資供給所否決

日支協約の主旨に依る海軍部の提出せる海軍物資供給所設定案は十三日國務會議に於て些の必要無しとして否決されたり(北京特電)

ペトロポヴロスク領事館設置

ペトロポヴロスク(西伯利カムチャツカ半島東岸の港)帝國領事館は十日より開館されたり(東京電報)

米强制買收勅令發布期

内地米强制買收に關する緊急勅令案決定し陛下に奏上の手續終りたるを以て十六日午後臨時樞密院會議を召集し決定の上十七日頃發表さる可しと(東京特電延着)

臨時救濟會設立
目的は米廉賣

澁澤男、東京商業會議所副會頭等發起となり東京臨時救濟會を設立し東京市府當局と協議し汎く救濟資金を集め米の廉賣を爲すに決し差當り風水害救濟資金剩餘金十五萬圓を支出すべし(東京特電)

原總裁歸京

政友會にては來る十八日北海道支部大會を札幌に開く筈なりしが各地方昨今の狀態に鑑み遂に之を中止する事となり原總裁は十六日盛岡出發の筈なりしも俄に豫定を變更し十五日夜急遽歸京す(東京特電)

李王殿下寄附
京城救濟會へ

李王殿下には米價昂騰により府民救濟の目的を以つて成れる京城救濟會に對し先づ以て金二千圓御寄附相成りたりと

間島貿易事情
鮮銀券と我商品の勢力

間島地方に於ける鮮銀券の普及は甚だ迅速にして今や如何なる邊鄙の部落に赴くも流通せざる處なく偶に最初は砂金買收を目的として設立されたる鮮銀出張所も終に兌換券の普及を以て唯一の目的と爲すに至れるが一方間島一流株の支那人及び鮮人商人の取引は悉く日貨建となり官帖留の勢力は漸次日貨に壓倒せられつゝあり又日本商品の侵入も非常なる勢ひにして龍井村局子街の商店に就て調ぶるも店頭に並列せる商品の素人眼には一見支那品若しくは露西亞品の如く見ゆるも實は一として日本製の模造品ならざるなく其の侵入經路は淸津より來るものと上海より吉林を經て來るものとあり故に最近

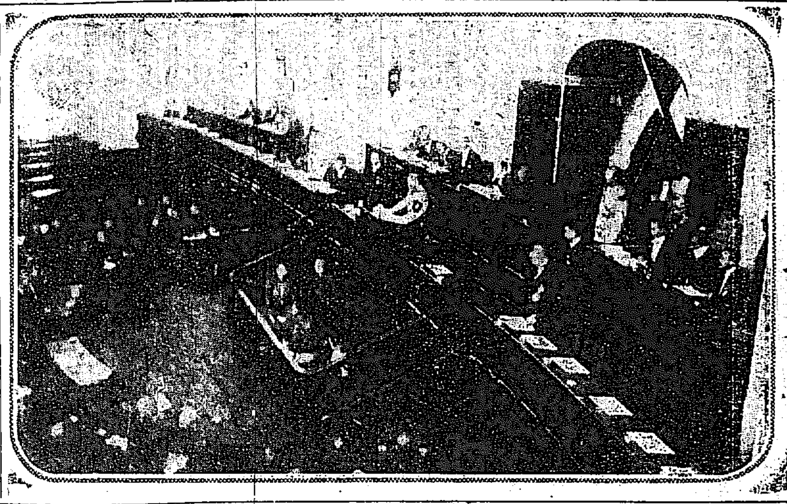
▲鮮人商人の日本商品に對する研究的態度は頗る眞面目となり龍井村局子街の一流商人中には直接大阪に赴いて買客の嗜好に適する商品を製造せしめ或は直接取引を行ふ等從來とは全く面目を一新するに至れり斯くの如く日本商品は非常に歡迎せらる〻も製造元は多く大阪にして價格も低廉なる代り粗製品多く動もすれば商品の信用を失墜すること無しとせず殊に今後兩三年間に

▲歐洲戰亂の終結する曉は必ず各國の商品潮の勢ひを以て侵入し來る可く其の秋に際して萬一日本商品にして信用を失墜し居らんか忽ちにして全間島の商品は日本より供給を受けず他の外國品を以て之に代らしむるは理の當然なる次第なり故に大阪商人も大に此點に鑑み粗悪品を濫造せざる樣注意し一方當業者も斯くの如き弊害を未然に防がざる可からず次に

▲間島及び淸津地方の貿易狀況を聞くに淸津商人は昨年白豆にて手を燒きたる由なるが生産者仲立者及び買出商人の態度より來るべき今秋の買出を豫想するに若干當時は兎も角十日二十日と經過して漸く混戰狀態に入る時は矢張り昨年と同一轍を踏むに至る可し何となれば淸津商人が個人的に

▲買出を行ふ時は所謂競爭を免れず競爭あれば必ず買ひ急ぎあり買ひ急ぎあれば必ず冒險的行動を敢行せざるべからず爰に於てか昨年淸津商人の心底を見拔きたる生産人若くは仲立人は忽ちこの虚に乘じ買出商人をして手を燒かしむること明瞭なり故に淸津商人は買出上合同して同一歩調を取り斯の如き災難を未然に防ぐの方法を執るを要すべきが各商人の經濟的根柢を調ぶるに悉く内地に關係を有し合同若くば同一歩調を採る等の事は萬々望むべからず然れば今秋に於ける

▲安全なる買出を行はんと欲すれば在間島の信用ある仲買人に委託し大なる儲けもせざる代り大なる損失をも招來せざる樣安全第一の商法を採らざるべからず昨年の如く間島貿易に關して確實の智識を有せざる店員從に大金を持參せしめ買出に赴かしむるは實に暴虎馮河の譏を招ふべく弊害のみ多くして一利なき事なれば斯の如き手段は大に愼まざる可らず(倉談)



▲新國會開院式 大總統の選挙を目的として召集されたる北京新國會は十二日湯大總統段國務總理以下各國務員悉く臨場開會式を擧行せり中央起立して開會の辭を朗讀せるは湯大總統也

總督府と米調査
＝調査機關の完備を期す＝

總督府にては今回の米價暴騰に際し果して朝鮮の在米が例年に比して減少せるや否やに就き先般來各道に命じて調査を行ひつゝあるが其結果大體に於て在米の前年より減少せる傾向無く移出も鈴木商店買付の發大なりし先月に於て十六萬石(例月二十五萬石乃至十四五萬石の移出あり)を出す却つて過剩ある見當なるが元來米穀の在高調査機關は甚だ不充分にして内地に於ても四百萬石の在米の有無に就て議論ある程にて四百萬石と云へば總收穫五千萬石の約一割に近き數量なるが之れが調査にして現在の儘にては如何に不便なるかも察知し得べく此點大いに鑑みる處あり政府にても愈々調査機關の完備に努むる意嚮なるが總督府殖産工部にても今回の米界の變調が米穀の充分なる調査行はるゝに於ては内地米界の混亂に際しても斯の如き結果を來さず又輸移出を適宜に調節して調和を計る事は一に調査機關の完備に俟たざる可からざるを以て總督府にても愈々調査の確實を期する爲め適當の方法を講ずる事となり近く着手の筈なりと

北滿出兵と鮮銀

政府は支那政府と共同の上露支國境方面の不穩に鑑み出兵を決行する事となり旨公表したるが朝鮮銀行にては浦鹽軍の出動と共に駐在員を派遣せし如く哈爾賓方面にも相當員を派遣して調査に營業に積極的の方針を執るべしと

鮮鐵速達扱廢止

朝鮮線に於ける大貨物速達便扱ひは大正七年八月三十一日限り之れを廢止する旨理事長の名を以て社告せり

朝鮮の在米調査
及び新米出廻迄の過不足見込量
＝本社に對する各郡の回答＝

▲群山府(全北) 在米玄白碎米共三萬三百八十石粳二萬六百五十石雜穀四千百七十四石新米出廻期迄過不足なし
▲寶城郡(全南) 在米三千四[...]不足なし
▲永興郡(咸南) 在米百[...]出廻期迄約百石不足
▲淮陽郡(江原) 在米[...]廻期迄の不足約千石 元來米産額少にて[...]金化、平康、通川地方[...]仰ぎ諸用を充たすもの在庫米最少期なり
▲鐵山郡(平北) 在米六千石[...]廻り期迄不足なし
▲安岳郡(黄海) 在米六千石新米出廻り期迄剩餘五百石
▲載寧郡(黄海) 在米千百石新米出廻り期迄過不足なし
▲益山郡(全北) 在米約一萬五千石新米出廻り期迄過不足なし
▲[...]郡(全南) 在米三千七百五十石[...]廻期迄剩餘七百五十石
[...]在米約二萬石新米[...]
[...]一千石[...]
[...]在米五千四百三十[...]剩餘四百石
[...]約六千石新米[...]
[...]五千石新米[...]
[...]二千石新[...]
[...]百五十石[...]因に同[...]郡は八月下旬より早稻收穫あり
▲水原郡(京畿) 在米約二萬石新米出廻り期迄過不足なし
▲山淸郡(慶南) 在米五千石新米出廻り迄剩餘三百石乃至五百石
▲龍泉郡(咸南) 在米二千石新米出廻り期迄剩餘五百石
▲舒川郡(忠南) 在米九千八百石新米出廻り期迄剩餘九十二石
▲順天郡(全南) 在米約二千五百石新米出廻り期迄過剩約二千石因に同郡は在來種早稻は近頃穗を垂初む
▲榮州郡(慶北) 在米八千石新米出廻り期迄過不足なし因に同郡は米の主産地にして平年剩餘米は不尠郡外に輸出さる〻が故に今後の經過に依ては不足を生ずるやも知ず
▲康津郡(全南) 在米九千二百石新米出廻り期迄過不足なし
▲任實郡(全北) 在米三百石新米出廻り期迄剩餘二百石

北海博と朝鮮

開道五十年記念北海道博覽會に於ける朝鮮總督府の出品場は第二參考館(五十坪)にて朝鮮建築の間仕切東西入口には門形天井は格天井を設け陳列台欄も亦朝鮮建築物を擬へ殊に東北隅には博覽會側の希望に依り實物大四間の溫突を建て出品は其内に陳列せり出品は朝鮮産業の概要又之に關聯せる總督府の施設狀況を示す方針にて農産物、水産物、林産物、鑛産物、工藝品、風俗人形、統計圖表等を出品し其の東側に間口四間奧行二間半の朝鮮古式宮殿造りの休憩所を建築せりと而して一般入場者の朝鮮出品に對する批評を聞くに元來北海道民の多くが東北人なるを以て朝鮮とは地理的關係疎く從つて朝鮮に對する智識も乏しく故に總督府の出品に對しては先づ錦紬や色彩の綺異に眼を睜り米、麥、豆、棉花、繭等の優秀なるを嘆賞し風俗人形の優雅なる姿を仰ぎ見て虎と朝鮮を聯想し相模索する等好評嘖々場内常に人山を築く人氣を博し居れりと

野田氏北滿視察

政友會總務野田卯太郎氏は十八日東京出發朝鮮經由にて哈爾賓視察に向ふ由

片山副醫官退職

總督府醫院副醫官片山信夫氏は今回依願本官を免ぜられたり

人事消息

▲加藤確治氏(南滿拓殖重役) 十六日夜入京朝鮮ホテルへ

鳥瞰雜俎

西部戰線で連敗の獨軍主腦部は又候顏を集めて何事か打合せに腐心して居るらしい▲如何で御座る御同役斯う取ては最う到底やり切れぬと申さぬ事は申さぬ聯合軍はだが第一最う國民が承知申さぬ事と存ずる▲一府の事務官方面へ手を出して差し當り國民の機嫌でも取り申し置かうか▲てな事で大分騷いで居るらしい其かあらぬか露都を指して獨軍は進んで來つゝある▲アルハンゲルクへ上陸した英軍は靜に北方から歐露の形勢を睨んで居り▲西伯利の方からはチエックを道案内として聯合軍が進出せんとして居る▲獨逸が兵力を此の方面へ割かうとすれば西部聯合軍は一瀉千里で進んで來ようとする▲さりとて獨墺俘虜や過激派を使つて露國を手玉にとらうとすれば頼む連中は日々に影が薄くなつて來る▲其の上に國内では食糧缺乏で最早滿足に喰へなくなつて政府は兵士に與ふる食迄も馬渡鈴薯化さねばならぬ樣になつた▲其の證據には先達て兵士に喫ます爲造つた食の八九分迄は山毛欅を混ぜてあつた▲爲に喫んだものは非常に健康を害した此の仰面非賞の害は聯合軍の毒瓦斯以上だつたと政府は議會でギウ〳〵いぢめられて▲結局陸軍大臣オーヴエン大將は一言もなく恐れ入つて居る▲彼れや之れやの手違ひが其處此處から飛び出して來る獨逸は▲最う愈々降參せねばならぬ時期が日々に切迫しつゝある▲一體燈火の消ねる時にも一度はパット明るくなるものだ▲獨逸は必ず最う一度位はパット花やかな事をやるだらう▲其れが獨逸の火の消ねる時だ最う少しの間だ

伊藤中將歷訪

十五日夜入京したる海軍技術本部長海軍中將伊藤乙次郎氏は造兵中監塚本直氏の兩氏は十六日午前總督府に長谷川總督及び山縣政務總監を訪問入京の挨拶を爲し其れより登屋武官の案内にて各所を歷訪したりと

嘉納副總裁出發

嘉納副總裁は十六日午前十時四十分南大門驛發の列車にて東上せり

鑛業登錄 (八月六日)

▲鑛業權設定
金、銅 京畿道水原陰城面 六萬五千三百二十坪 朴載昊
金銀銅 慶尚南道泗川郡泗川面 十八萬四千七百四十六坪 陳□男、金炳玉、李□□
鐵 黄海道新溪郡多谷面 九十四萬三千五百六十四坪 三菱合資會社
同 同 九十七萬七千六十四坪 同
同 平安南道中和郡中和面 六十五萬二千九百二十三坪 同
鐵鑛 同孟山郡元南面 五十三萬六千千五百坪 三戸守三
[...] 江原道洪川郡[...]面 五十九萬七千百六十坪 谷川大六
金銀 江原道金城郡[...]面 二十一萬九千八百七十四坪 石塚益太郎

八月上旬氣象概況

前旬に[...]にして時に[...]外の降雨を催せ[...]せる頃より中部以南の地方は其の[...]
[...]せり之[...]京城の二六度餘より雄基の二〇度に上り元山の三五度六を最高とし[...]

上旬鮮鐵收入

[...]

京日案內

普通一回前金七拾錢 番外一回前金一圓(但し一回に付拾錢增し)
▲申込中役遂掲載中止の節は料金不返戻
▲六回以上の御申込は特に割引のこと
▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

得意廻り店員至急入用 永登浦(電話一五番) 村田雜貨店

高等經濟主任招聘 希望者は履歷書携帶午後一時より三時までに來談あれ 京城三越裏通り東亞經濟會事務所

內地人女子募集 廿五六歲迄 履歷書携帶庶務掛ニテ承合スベシ 龍山 總督府印刷所

店員募集 日語を解し運送業に經驗有る者希望者は履歷書携帶本人來談 京城蓬萊町一ノ九〇 平田運送店

恩給立替 金は證書引換に御渡し致します 地方は規定書送呈す電話三〇三番 京城府若草町郵便局前入 西村商會

特約店 日用雜貨類各種製造業者諸組合 直卸開始各地に設置時價の半値乃至三分の一にて日用品を供給す地方商人活躍の好機來る返券入照會次第案內書と萬種日用雜貨製造原價直卸表進呈 東京本郷湯島六ノ一 日用雜貨製造組合

六十九回新債券 九月一日初回くじ二千圓十六本 即賣 一通拾圓送錢一口送料拾貳錢 濟崩拂込五ヶ月拂二圓卅五錢 初回拾ヶ月拂一圓五拾錢 運月くじの樂める天地人の組も揃へてあります御申込を乞ふ

日本勸業銀行構內 債券相場 勸業債券月報社

八月卅一日迄▲印九月くじ參照御諦意規定書御申越次第進呈

[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

御入用の節は十銭郵券送料有價證券勸賦法規 發行時報五錢送料四錢 債券十號外三錢 月報一年號外共一年廿四錢 一圓卅錢

振替東京一九五四〇番 電話東京九五五〇番 福岡市博多下呉服町 福岡支店 東京市麴町區內山下町 本店

藥草 淫羊藿エキス

淫羊藿は古來有名なる藥草にして之れを服用する時は靈妙なる効驗ありと支那朝鮮兩國人に愛用せられしが產出地方に限られて彼の高麗人蔘の如く廣く用ひられず普く知られざれども其の効驗は遙かに人蔘を凌駕すとて醫家の重用する所なり今や醫院試驗所乃至藥劑家に於て研究中に屬し未だその成分は發表なきも强壯劑として將亦精力增進劑として有効なることを認識されたり加之本劑は東醫寶鑑其の他の醫書により其の効能の顯著なるは明白なりと雖も何如なる成分が人體に有効なるからざるが故に姑く疑問の解明を將來に待つ外なし併して之れを社會に提供するに至りしは其の實驗上斯かる有効なる藥草を一地方少數人士の使用に限るは國民保健上大なる損失と思料し精選したる原料より經驗に富める藥劑師をしてエキスとなしたるものなり

定價 二十五入 金壹圓 三十五入 金壹圓五十錢 四十五入 金壹圓九十錢 五十五入 金武圓三十錢
送料 鮮內 二十錢 鮮外 三十錢

主効
一神經衰弱症 一胃腸病 一ヒステリー
一貧血症 一腦病 一ヒポコンデリー
一胃腸症 一肺病 一老衰
一眠病 一リウマチス 一精力減退
以上に依り適應症左の如し
一、精力を盛んにし精神を爽かにし腦力を增し元氣を良くす
二、思考判斷及記憶力の減耗を癒す
三、讀書計算の疲勞を癒す
四、安眠し亦眼の疲れを癒す
五、筋骨の疼痛を癒し又疲勞を恢復す
六、消化及便通を良くす
七、產前產後及病後の衰弱に良し
八、血の道氣鬱症に良し
九、子なき人に良し
十、貧血虛弱を癒し營養を良くす
十一、手足冷腰の冷ゆるに良し
十二、陰萎遺精及子宮病に良し
十三、深膽に良し
十四、長壽なるべし

用法及服量 一日半グラム乃至一瓦を温湯に溶解し若くはオブラートに包みて飲用す
注意 空腹の時飲用するを良しとす。エキスは香氣苦味を併有す清酒にて呑下すれば樂なり。本劑は少くとも一ヶ月以上繼續して服用すべし然らざれば効果少し。六ヶ月以上に至り効能特に顯著なり半グラムは小豆大一グラム大豆大なり

▲本代理部は御承知の方へは前金にあらざるも送品可仕候得共成るべく前金(京城日報代理部 振替京城三〇〇番)へ拂込み通信欄にて御注文の事 にて御申越被下度候然らざれば代金引換便にて御送り申候に付御損と相成可申候
▲價格五十圓以上一時に御注文の方へは一割の特別割引を可致候
▲本藥取次販賣の御希望有之候は〻御相談可申上候

全國一手販賣 京城太平通り 京城日報社代理部 電話長六〇〇九番構內十八番・振替京城三〇〇番
京城特約店 山岸天佑堂 北島支店

テンカン ヒキツケル病を自宅で秘密に治す事を人助に無代で教ゆ切手三錢封入申込あれ 名古屋市中區南小川町 救生館

大連燒酎 一度飲めば外の品は飲めなくなります 大連市 大連燒酎製造所

質 戰慄すべき火災の防備に遺憾なき完全なる倉庫あり多額の融通も出來得るやう御便宜を圖る 京城明治町二元曙町 電話一八四九 大塚質店

最新刊 書翰文範例及文例 坪內佑々木 定價九十五錢 千葉胞香著 八五
家庭園藝十二ヶ月 生物界と人生 印象 記念川 日野 定價五十錢 千葉胞香著 一・八〇 一・五〇
ダリアとバラの作り方 獨乙を中心に赤禾 春樹 千葉胞香著 定價七十五錢 一・二三〇 一・六〇
朝顏栽培秘訣 新規 ナポレオン 光田 一・八〇 一・〇〇

京城本町 大阪屋號 振替京城二一五・七二三 電話六〇八・六〇九

京城古市町電話二七四六番 硝子工場 畑兄弟 主 瓶類 弊工場特製人蔘エキス瓶…に限る其他一般の御注文に可應候

東京三金の靴
ボックス革製編上靴 一號金四圓五十錢 二號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢
ボックス革製短靴 一號金四圓五十錢 二號金五圓五十錢 三號金六圓五十錢 四號金七圓五十錢
ボックス革製深ゴム 一號金五圓五十錢 二號金六圓五十錢 三號金七圓五十錢 四號金八圓五十錢
右の均一靴は精選せる材料と熟練なる技術を以て最も入念に製造せし品なれば一般實用紳士靴として好適品なり 御注文の節は靴の種類と足袋の文數御通知あれば代金引換小包送料實費にて御送附申上候
寸法見本用紙付目錄送呈
東京市芝區愛宕下町 三金高等靴店 電話芝一六九 振替東京一七二三

課題及募集規定

[...]募集規定 ▲用紙は[...]一枚毎に雅號[...]

○廉賣所愈々決定す

京龍各學校と西本願寺 米券は教員の手から配付

米價狂騰の爲め細民救助米の廉賣を目的とせる京城救濟會にては十六日午後も引續き種々の實行方法に關し打合せを爲せるが其後の協定事項を聞くに左の如し（十六日夕刊參照）

▲廉賣時日 八月十八日午前九時半より毎日午後四時迄

▲廉賣の場所 龍山方面にては元町小學校及び龍山小學校の二箇所にて行ふ京城方面にては南大門小學校、鍾路小學校、若草町西本願寺、櫻井小學校、鍾路小學校、梅洞普通學校、校洞普通學校於義洞普通學校にて之を行ふ即ち京龍全部にて合計九箇所の廉賣所ある譯なり

▲金錢受入 銀行集會所の厚意に因り府內九銀行より一名宛の行員を廉賣所へ出張せしめ之を取扱ふ尚切符の賣渡しは小學校教師の厚意に依り之を行ふ豫定なり即ち廉賣を受けんとするものは先づ一升二升若しくは五升の內孰れかの米券を小學校教師の手より買ひ受け之を持つて銀行員の手許に提出し指定せられたる金錢を支拂ひ（必ず小錢を用意すること）米券の一片を以て白米と引換ふる順序となる譯なり

▲量手 量手は京城白米の小賣商組合の厚意に據つて廉賣所一箇所に就き平均三人宛を置くこととなり全體にて約三十人の見込なり尚ほ龍山方面は別に龍山方面にて量手を依賴する筈

▲救濟會役員 役員は左の如く決定せり

會長金谷充△顧問小牟田十太郎、神崎政一、矢野助藏△評議員加藤房藏、萩谷籌夫、釘本藤次郎、大垣丈夫、中村再造、執行猪太郎、白宗鎬、韓相龍、趙鎭泰△理事大村友之丞、服部豐吉、北村健吉

▼水害の爲め 廉賣米の集中に困難を感じて居る

某當事者談

昨今の樣に天候不良では廉賣に販賣すべき米の輸送が甚だしく困難である現に麻浦に在るものゝ如きは水害にて街路不通の爲め運送不能に陷り又東拓の持米の如きは目下纛島に在りて漢江の增水に因りこれも運搬困難の模樣なり而も此際市中に在る白米を買收して救濟に充つるが如きは之れ又市價を徒らに昂騰せしむるの虞ひあり斷じて避けざるべからざる事なれば救濟に充つべき米の集中は今非常に困難を感じて居る若し萬一廉賣米に不足、品切れを告ぐる事ありとも全く不可抗力に基因せるものにして決して當事者の怠慢に歸すべきものに非ず相當の時間を得れば直ちに豫定の計畫を實行し得べきものなるに就き此の邊の消息は廉賣を受けんとするもの、豫め承知し置かざる可らざる事柄である

○七十箇所で米の廉賣

大阪府の計畫

大阪府にては十七日より市郡小學校七十箇所にて白米廉賣開始の筈なるが廉賣値段は一升三十五錢の由なり（大阪特電）

▲外米は十五錢 大阪市公設市場は當分外米丈一升十五錢に廉賣すべし（大阪特電）

○驛構內に米の山 大阪と神戸

大阪神戸兩驛には廻米積んで山を爲せり（十六日大阪電話）

○海軍飛行場候補地

海軍省にては更に伊勢灣沿岸に海軍飛行場新設計畫の由にて候補地は多分四日市一色濱ならんかと傳へらる（大阪特電）

○廉賣の大流行

各地よりの報道に據れば窮民救濟の爲到る處米廉賣を開始せり（大阪特電）

○家屋濁流に漂ふ

仁川の出水被害 悲慘なる下層民の群れ 救濟會より數十石施米

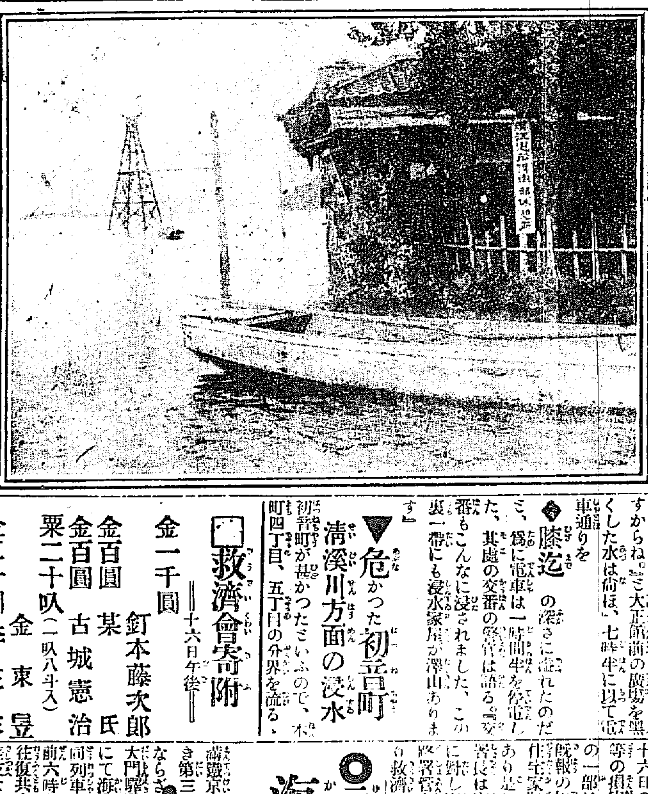
十五日夜來の豪雨の爲に仁川府內の浸水家屋は約二百戸に達した新町一帶は下水溝排泄不能の爲め悉く床下迄の浸水を見一時非常の混雜を呈せしも被害と認むべきものなく花町にて約四十戸牛角里金谷里に約五十戸の浸水家屋あり殊に悲慘を極めしは花平里の被害にして同里の一部約八十戸の家屋は全部床板を洗ひ甚だしきは朝鮮家屋の仕に軒下を水面に出して濁水の中に漲へる等頗る被害多し殊に花平里は

▼鮮人勞働者 の其日稼にて辛うじて生活を爲し居る細民多く之れが爲め糊口を凌ぐ能はざるの悲慘に陷れる者其全部に亘るの有樣なるを以て仁川府廳にては之が救濟の必要ありとし警察其他と協力し仁川救濟會よりは特に數十石の施米を爲す事とし同方面へ搬出救助に盡力せり其他市內到る處に

▼道路の破損 樹木の倒壞せし物多く吉田秀次郎氏の住居せる元ウルテル別莊の頑丈なる煉瓦塀約十間橫樣に倒潰し府廳構內に屹立せるアカシヤの大樹亦颱風に煽られて根本より吹き倒されたる等以て一般に被害の甚大なりしを知るべし

▼難破船 十數隻に達す

尙右と同時に仁川港內に繫留中の船舶の難破十數隻に達したり殊に第十七川內丸はセメント二百十噸を積載したるまゝ沈沒したるが此の損害積荷のみにて約二千圓に達すべく此の外第八第十五第十二の各川內丸は何れも積載貨物を濡らして多大の損害を被り福島組の所有する解船六隻は玄米を積載したるまゝ繫留中なりしが之れ亦暴風雨に襲はれ辛くも沈沒を免れたるも積載玄米は悉く濡損したり其他の損害等は目下取調中（仁川）



□舊龍山の出水 ＝十六日漢江岸にて

○豪雨の中心は京城仁川地方

雷鳴電光を加へて好く降た京城は坪に三石弱 まだ急には霽るまい

低氣壓の中心は十五日午前以來黃海中部に懸り依然として動かず十六日朝稍北進して相變らず黃海の北部にあるが示度は中心で七百五十五粍位のものであり深くは無い其爲め十五日來の天候不良である譯で今回の雨は大體全鮮に行き亘つて居るが其降り方は京城、仁川が最も多く昨朝から今朝まで一晝夜にかけて仁川は二百粍京城は百五十八粍の降雨で其他全鮮約二十五粍以上木浦及び平壤二十粍釜山廣梁八粍鴨綠江口七粍の配布である之で見ても京仁が中心で漢江流域を中心とした地方に多く其他は大した事も無かつた樣である京城は十五日午後八時四十分頃から雷鳴電光を加へ雨は降り通し十二時頃は一寸小止となつたが十六日朝六時から勢ひを得七八時に至つて最も激しく此間一時間の雨量三十五粍に達してゐる以上の通りで急に快晴とはなり難いが十六日中に低氣壓は朝鮮に上陸通過する見込であるから漸次に恢復するであらう（十六日午後二時京城測候所員談）

◆浸水の跡

恐ろしい水でした 若草町方面

天公時に邪にして、米價昂騰に救濟の手漸く延びんとする折柄のこの十六日、この地變を天降す。十五日夜來の雨は實に、世にいふ橫道の雨は、所謂車軸を流す勢ひに猛烈なる西南の風をつけて降りしきり十六日朝七時に於て近來稀に見るの慘害を呈した、その風水害の跡を訪ねて即ち、本町五丁目八十七番地附近を大和町方面より流下する川水に沿うて若草町に下れば、傷ましくもまづ眼に入るのは支那人家屋の滅茶々々に

◆倒潰 してゐる。その附近早くも道路は深く穿ち損ぜられてそこに名殘る濁水に當時の慘狀を眼に見る樣、七時半に於てこの邊は道路に膝を沒し、屋內は漸くにして疊に上る水を防ぎ得たのだこいふ、下るに從つて浸水の程度は甚だしく七十番地では遂に疊に上つたこ河岸の石崖は崩壞してここら邊は目も當てられなかつた附近の洗濯屋のお內儀さんは語る『恐ろしい水でした。

◆危い なこ思ふ間もなく七時半でせうか、まあ、こんな有樣になりました。』と家內に担込まれた花泥に困りきつて手をこまぬいてゐた、尙ここには鮮人白米商が米を浸されたであらう、暗い顏して乾しひろげてゐた。

▼慘たる櫻井町 疊が滅茶々々

櫻井町方面は就中最も甚だしいこ噂された、胸をおごらして見る狀況は豫想外にも慘たるものであつた濁水疊を浸さんこしたもの、恐らく表通りの河川に從つては全部こ見られた。穴を穿たれて通行危しこ見らる、道路を挾んで、黃金町電車通り迄流し去られたこいふ下水蓋の修理に忙しく家內は、朝からの活動であらう

○易に現はれた米價の將來

此秋から新穀にかけて 二回暴落する

明治町の易斷家岡村介石氏は十三日午後正時米價の將來を筮する處ありしが其結果左の如き卦現はれたりとて同氏は語る

☰乾爲天 發爲澤☱に之く

乾は天の象 之卦兌は人口の象で又悅びを重ねる象であるだから解り易く云ふと此卦は天下公衆の口々に米高を稱へ

▽生活難 を叫ぶ現下の狀態に該當するのである、兌の悅ぶと云ふのは下こ爻の人民の叫びに政府も極力之が救濟策を講じ且つ御內帑金の御下賜や民間富豪の義捐金などがあつて人民が悅びを重ねる象を指すのである乾は米價の昂騰の極で秋冬の候に當り兌は下落最低の象で正秋に當る故に此二象より觀る時は昨今下向になつた米價は新穀九、十月から來年一月にかけて二回の大暴落を演ずる事になる尤も昨今の下落は其の下落ではなく米屋の

▽恐怖心 こ反動安に基因する一時的の現象であるから今後或は多少の戻しが來るかも知れぬ、私は曾て今年は大豐作だこ云ふ事を豫言して置いたが今の模樣から考へるこ新穀出廻り後一度大暴落を演じ其後第二回の大暴落を見る筈である米價が自然的に下落するのは恐らく此の二回目の時であらう

○大阪砂糖低落

十六日大阪の砂糖相場は更に低落し精糖二十六圓十錢を唱ふるにいたれり（大阪特電）

◆寢衣 姿の人々の花泥に汚された臺所の掃除の最中である。『覺悟はして居ましたが、劇しい水でしたよ、疊まで』御宅の通り滅茶々々です』膝より二寸も高い處を指して『居がこれより深い水ですからね』こ大正館前の廣場を果くした水は荷ほ、七時半に以て電車通りを

◆膝迄 の深さに達したのだこ、爲に電車は一時間半を停止した、其處の交番の巡査は語る『交番もこんなに浸されました、この裏一帶にも浸水家屋が澤山あります』

▼危かつた初音町 清溪川方面の浸水

初音町が甚かつたこいふので、本町四丁目、五丁目の分界を流る、老人亭方面から下る川に架せられた橋の袂を初音町に向ふ橋袂の大道路は早く龜裂して、一方は低下し橋桁は拔て、應急に渡された薄い板によつて危く交通は支へられてゐる、激流に底を浚はれた石堤は、崩壞しては川沿ひに並ぶ家の礎を支へない、爲に軒傾いて半ば倒潰した家も尠くない、初音町八十四番地方面はこの土石を加へた激流を正面に受けて慘たるもので、人の再び住み得ない程に損傷した家を右左に見た。尙、下水の設備の貧弱な南山町から旭町三丁目にかけての道路決潰、浸水、清溪川に沿ふ方面の浸水に京城は叫喚の聲を擧げたのである、尙一時近くから再びつけて來た橫道の雨は呪はれて多くの人に見上げられてゐた（十六日午後記）

□救濟會寄附 ＝十六日午後＝

金一千圓 釘本藤次郎
金百圓 某氏
金百圓 古城憲治
粟二十叺（一叺八斗入） 金東昱
金二千圓 李王家
合計 三千二百圓
累計 八千八百圓

○內地新聞發賣禁止

十四日發行の內地新聞紙の大部分は其筋より發賣頒布を禁ぜられたるが右は米騷動に關する記事掲載に因るものなる旨其所に情報ありたり

○被害民 府と警察で救助

十六日の豪雨にて京城は家屋道路等の損害少からず本町警察署管內の一部は殊に甚だしかりしこは既報の如くなるが水害の爲め全く住宅家財等を失ひたる朝鮮人數戸あり是れが救濟に就き小牟田本町署長は府尹と協議の上前記被害民に對し應急の救濟を施せり因に鍾路署管內龍山方面には今の所差當り救濟を要すべきものなき模樣也

○元山へ……海水浴へ 臨時列車運轉

鐵道京城管理局主催元山海水浴行き第三回割引臨時列車は天候險惡ならざる限り十七日午後十一時南大門驛發の筈なるが每回乘客滿員にて海水浴場は盛況を呈し居れり同列車の南大門驛歸著は十九日午前六時なるが日曜を利用したる往復共夜行の事こて勤務向きにも差支なく且つ割引の特典もあれば一日の清遊を試むるには最も適當なるべし

◇各地の白米 ＝十六日小賣值段電報＝

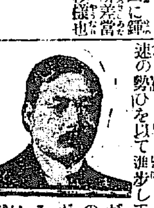
▲清津 一等白米一升四十一錢十五日に比し四錢低落す
▲釜山 市場持合三十圓高內薄く小賣相場亦變りなく一升卅八錢より四十錢迄なり
▲元山 十六日より石拔一等白米一升三十四錢二等三十八錢に大暴落各米屋大競爭の狀態なり

讀者文藝（一等には五十錢の切手を呈す）

▲俗謠『波』 京城 春曙
◎波に不題の秋風たてば崩れ落ちそな雲の峯（一等）
▲波は千尺荒れよが儘よ此度が御國の爲めぢやもの 來天 節郎
▲うしろ姿の浴衣の模樣波に千鳥のちらし染め 金二浦 きの字
▲浦に寄る波眠れる島の夢を覺さむ程に立て 鴨江畔 奇峯生
▲船の斷を男こ知つて女波後に忍び足 龍岩 みのる

鼻が高くなる 隆鼻器無料貸與
鼻は人生の花で最も大切な物で幸不幸の分れ道は實に鼻の格好一つである青年男女の內で▲獅鼻▲天鼻▲わし鼻▲其他だんご鼻▲其他の格好の惡しき人の本法は舊式の手術や隆鼻術でなく自宅で人に知らぬ間に何人にても見違ふ程立派に鼻の隆くなる新案特許の隆鼻器を希望者に無料貸與す郵券二錢封入申込ば十一本の全部を郵送す 東京神田區錦町一の二 東京醫療器械製作所

◎毒瓦斯 恐ろしきわきが
歐洲戰爭で毒瓦斯を以て人を殺して居るは皆さんの知る恐ろしき事實であるが毒瓦斯以上人のいやがるはわきがの惡臭である歐洲戰亂の爲我國は意外なる藥化學療法が急速の勢ひを以て進步して居るが未だ此最も人の嫌ふわきがを全治する藥物療法はない弊研究所はか、る不幸に泣く人を如何にして救濟すべきや種々研究の結果今回同病諸者五百人限り全治せし人の實驗談及藥品を提供す希望者は二錢郵券十枚又は三錢郵券七枚封入申込は人知れず郵送す 東京神田駿河臺下 內外藥物療法研究所



◎月やく
月やくもまり不順のため何となく顏工合惡く心配の方は幾度用ひてもキカヌイカサマ藥に迷はず私方へ返信料を添て相談あれ數ある中でも一番たしかで安全に害なく流する妙藥を人助けのためにお知らせします
親切にお相談
東京四谷信濃町電停前 大阪北區梅ヶ枝町電停前 森田屋

村田本店 東京京橋區因幡町一 電話京橋一八二九番・三十五番 [illegible]

鐵道局拂下品販賣
夏洋服（紺セル）
冬絨服小倉服（紺小倉）
軍隊拂下品一式（外套毛布皮胴 中古チヨツキ各種多數）
和洋衣服類一式
新調洋服類
多少に不拘御用命被下度候
官衙 和洋衣服拂下品商 金子商店 京城本町二丁目 電話二〇五番 振替口座京城三八一三

鑄物職工募集
鑄造に經驗ある日鮮人十數名募集す希望者は履歷書を當所修理課宛て提出すべし
大正七年八月 三菱兼二浦製鐵所

痔疾專門 京城久枝肛門病院
◈入院隨意 京城明治町一丁目本町より入る中程（電話二一〇一番）

第一回白米特價大廉賣
一普通時價より 一升拾錢方割引
一廉賣期間 八月十七日より
一賣出方法 市內各交番に寄託せる廉賣券持參者に限る
一發賣所 市內白米商組合加入各米屋
右組合協議會の決議により細民救濟の爲め前記方法にて一人五升以下廉價販賣致し候也
八月十七日 京城白米商組合

內科 呼吸器病 胃腸病 小兒科 婦人病 今村醫院 京城若草町大通り 電話一八三二番

警務總監部認可 蚊取 かとりたどん
一名蚊取炭火の代用として一時間以上を保ち高尙なる香りは室內に充ちカトリ用として此れ以上なし 定價壹箱金二十個入貳十五錢
衛生無害 いはを殺すは之より早き法なし 布せばはいは室の內外を問はず小蟲を撒あらゆる害虫には直に死する事請合其外にも有効保證 定價壹個金拾錢
朝鮮一手販賣店 京城府黃金町三丁目一九一番地 丸山本商會 電話五三四番
各地特約店御希望の向は御照會を乞ふ

日鮮會話精通 西村眞太郎著
朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師
袖珍總クロース頗美本◎七百餘頁◎定價一圓三十錢
諺文の素讀を學修し得たる人士は速かに本書を購求せられむ事を勸む
凡そ自己の知らむと欲する朝鮮語は如何なる言語と雖も悉く本書を繙きて知る事を得べし
眞に本書は萬般の會話例を網羅せる一大辭典たり。語數の豐富、譯方の正確、說明の親切。會話の實際的なるは本書の特色なり速かに一書を購求して熟讀あらむ事を祈る
發行 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部
取次 京城本町一丁目 大阪屋號 京城本町二丁目 嚴松堂

株式會社第一銀行京城支店
資本金 貳千貳百七拾萬圓
積立金 壹千參百參拾萬圓
總預金 貳億七千萬圓
京城本町二丁目 振替貯金京城[illegible] 電話[illegible]
頭取 佐々木勇之助
支配人 西村道彦

健胃劑 ホシ胃腸藥
主効 ▼消化不良 ▼食もたれ ▼溜飲吐瀉 ▼飲過食過 ▼胃腸カタル ▼惡醉宿醉 ▼惡心胸搭
定價 廿錢 五十錢 一圓
東京 星製藥株式會社

妻の心 (六十八)

十の七　小林蹴月作　武内桂舟畫

『あら、奥様、憎らしいでは御座いませんか。招魂社裏の狐奴が這麼物をお見舞品だなんぞつて……。』

何事にも卒直一方のお俊は、我を忘れて端たなくも然鳴付くやうに口走つた。

『何ですね、俊やは。他様の被在る所で、そんな口穢い言葉遣ひを爲るもんぢやありません。一體此の草花は何方さまから送つて寄越して下すつたの？』

禮子は、窘むやうに云つて、俊やの手から件の手紙を受け取り、裏の名前を讀み下して見たのであるが、成程是なればこそ俊やが憤慨したのも無理はないと感じた。けれども表面は何處までも落着いた態度で、

『折角、妾が草花の好きなのを知つて態々贈り物に爲てお呉れたんでせうから、有難く頂戴しこいて下さいね。』

『だつて奥様、隨分で御座いますわね。それ程の親切があるなら、自身でお見舞に來たら宜しいでは御座いませんか。本來一人前の女と生れて來た癖に、他の妾手掛にならうこ云ふやうな奴の了簡が淺間しう御座いますわ……妾、旦那様のお寵愛をわるく申すんぢや御座いませんけれども……本統に彼の白狐が癪に觸つて……。』

『これこれ俊や、お前はまア何を穿き違へて、そんな獨語見たいな事云つてるんです。あのもし若龍さん、お氣に交へずに居て下さいましよ。此の女はつい最近まで宅に居りました者なんですが、餘りに人間が正直過ぎる爲に、肚にある事を一寸も飾へこる事が出來ずに、ほんほん云つて了ふ癖がありますんで御座いますの。』こ、禮子は悠目でお俊を制しながら、手紙の封を切つて、甚麼事が書いてあるかと、覺束なくも讀み下して見ると驚いた。文句の半以上は、良人久三郎に對する嫉妬的わる口なのである。

――旦那様には三四日頃以前手前方を不圖お立出でなされ候處今以てお歸り之無候。無論御本宅へお歸り遊ばされ候儀は之無ことゝ存じ政黨の事務所やら、會社の方やらその外心當りの諸所方々を聞ひ合せ候へども、更に〳〵解り申さず、多分此柳橋の若龍とやら申す手練の女に精神を奪はれ遊ばし、彼の邊の待合などにでも御潜びの事と察せられ申候。日陰者の果敢なき妾には候へども、既に旦那様のお情を箔して、五月の節句の祝ひも致し候今日、旦那様のお心が只今のやうにふわ〳〵こ致し居り候ては、只さへも便りなき此の身の末始終誠に〳〵心細き限りに御座候。一度奥様にお目もじの上是までのお詫も致し、若龍こやら申す悄き〳〵女の事に就ても、篤こ御相談致したく、凡は奥様より旦那様の御所存をお聞遂け下され候上にて、妾の身の身二つに相成り候はぬ以前、諸事安心の處置方を付けて頂きたき心構へに候へども、奥様には不時の御災難にて御入院中こ承はり、今日は差控へ申候。何れ御退院の曉には必ず御本宅へお邪魔に罷り出で、その節委しく御願申上げ度候。此の草花はほんの〳〵御病中の御つれ〴〵を慰めまつる便にもこ存じ、二鉢三鉢取り揃へ御目に掛申候――云々こ云ふのが、その大意であつた。舊派の女優上りこは聞いて居たが、筆も文章もなか〳〵確乎したものであること、禮子は思つた。併し禮子は如何にしても、打明けて此の手紙の文言を若龍に語り聞かす丈の勇氣はなかつた。『只ほんの病氣見舞の手紙です』と、輕やかに卷き收めて、袖の下へ押し入れて了つた。

若龍も勿論、自分の惡口が書いてあらうとは思はぬ。强てさまで〳〵の事を根掘聞ふの必要もないので、黄昏の電燈が寢臺の上へ輝き初めたのを合圖に、そこ〳〵に暇を告げて辭し歸つた。お俊は、病院の入口までそれを送り出したが、やがて、病室へ引返すと同時に、禮子の打悄れたる姿と、今方招魂社裏のお芳から送つて來た鉢の草花とを見較べるやうに熟と眺めて、

『奥様、わるい事は申しませんから、這麼穢らはしい物は、窓の外へ打擲つてお了ひ遊ばしませ。』と叫んだ。

『まあ、俊やとした事が、何ぼ何だつて、そんな事出來るもんぢやありません。是だつてお前、旦那様のお寵愛から寄越した品なんですもの。』と、禮子は、力ない返答。

『で御座いますから、尚更憎らしいと申すんで御座いますよ。此の草花の鉢には、乾度奥様を呪ひ殺す仕掛が爲てあるかも知れませんわ。』と、お俊は、何處までも坊主憎けりやの舌鋒が鋭い。

季節料理

◆一、冬瓜の芥子味噌◆

(材料) 冬瓜十錢位のを一個、芥子一錢、甘味噌五十匁、砂糖五匁、煮汁三合、胡麻油極く少量、酒五勺、醬油壹勺

『調理法』 冬瓜を縦に細長く十片位に切りまして中の實を取り去つて皮をむいて胡麻油の沸ぎつたもので皮の方が一寸焦げ目が付く位にいためます、此れを煮汁醬油酒で一寸味を付けて置きます、味噌を裏漉にかけまして砂糖四匁煮汁二合酒三勺位を加へまして火にかけてよく混ぜながら少しドロ〳〵する位まで揑りまして其れへ芥子を落して混ぜます、此處で前の冬瓜を御刺身を切る様に切つて御丼なり深皿に盛り其れへ芥子味噌をかけて御膳に出します

◆二、茄子隱元の胡麻味噌◆

(材料) さやいんげん小百匁、茄子十個、黒胡麻五勺、甘味噌五十匁、砂糖五匁、酒五勺、重曹少々、鹽

『調理法』 茄子の皮をむかず其のまゝ御鍋に御湯を入れて其れへ味噌漉をふせまして其の上へ載せて蒸します、蒸せて柔かになりましたら取り出して其のまゝ冷しまして置きます、『さやいんげん』は後先こも筋を取りまして長い物は二三本に折つて御湯の沸騰して居る所へ鹽こ重曹を少し入れて此中でゆでます、そしてゆだつたら笊に上げて冷まします、其れから胡麻をよく煎つて擂り鉢で擂りつぶし味噌を加へてよく擂り上て砂糖こ酒を加へ混ぜます、この中へ前の『いんげん』こ茄子は御刺身の様に切つてよく混ぜ和へてから深皿か御丼に盛つて侑めます

注意 茄子の皮をむかず軸も取らずに蒸しますのは茄子に水氣が含まない爲めにするのであります

◆三、エマンセンド、ホワソン、アラ、アルジエリー(六人前)◆

(材料) 鮪か鯛か鱈一人前三十匁宛の切身、中位のトマト五個、松茸三本、小海老六つ、粟五勺、スープ四合、カレー粉十匁、片栗粉二十匁、鹽、胡椒、醬油二勺

『調理法』 肴の切身に一寸鹽胡椒をしましてカレー粉こ片栗粉こを混ぜたものをよく兩面へ付けましてバタかヘットでいため揚げます トマトは皮をむぎ海老も皮をむき松茸こ三品を小さな骰子形に切りまして粟こ一緒にスープを四合加へて粟の煮ゐる迄煮ます、煮ゐましたら醬油で味を付けまして肴をお皿に付け此の粟の煎つたものを上へかけてテーブルに途ります 若しスープの無い場合は煮汁でも宜しう御座います

注意 此の料理は佛領アフリカの上等の料理で御座いまして佛蘭西では非常に賞美される料理です

果物の皮を利用した五色漬

林檎、桃、夏蜜柑などのむいた皮をよく洗ひ林檎なれば芯も一緒に煮立てその汁をこります、是れに程よい鹽氣こ砂糖を加へて味をつけます 別に牛蒡、蓮、慈姑、青豆人参等を輪切にしてゆがきその他に馬鈴薯、茗荷、生薑などを細切りにして鹽でもんで置きます そして前の汁にたら〳〵こ酢酸又は普通の酢を滴して好みの酸味をつけその中に用意した野菜類を各々色を配合してよく別けて瓶のやうなものに漬て置きます、黴が生ゐたり早く酸化しない爲に瓶の表面にサルチル酸を散らし涼しい處に置きます手當さへよければ置くほご風味が加はり夏向の茶菓子や食事の酢の物代りに小皿に色取りよく盛れば美しいものです、この漬物は廢物利用ですが身體の爲にも良い効能があるものですが尚これを作るに野菜ばかりでなく色色の果物を甘く煮たのを共に漬けて野菜にあしらへば更に價値が出ます

□土用吟 (其の二夜)

夜の秋

垣間の花を客知らず夜の秋　田打夫
馬こ我に提灯一つ夜の秋　綠童
高草に螢火拋げぬ夜の秋　迦南
伸の灯森に消ゐたり夜の秋　關川子
竹叢にそほつ雨歇る夜の秋　草綠
夜の秋や庭木稚松こ槇　橙黃子

蛇

下り起ちし雀遠く飛ぶ草の蛇　迦南
水蛇におそはれて流る筏かな　紫光
畑鍬に蛇挿たれたる土暑し　田打夫
蛇見て墓探す心すくみけり　橙黃子

□草月鈔

▽　青瓦
水平線明けはなる畑に瓜荷成る
ダイナマイトの魚流れ來る堤顚に
▽　雪女
蝉の壁滴鳴り高めて雨霽れぬ
▽　瓜青
瓜朝月潮風いたむ樹々の向
電燈工夫居て扇裏打つ堤顚に
茄子畑に運ぶ水山手灯したり

新刊紹介 (到著順)

▲ホトトギス(八月號) 暑行の翌日(虚子)俳句の香調(乙字)夏の終りの雨(碧梧)無音の對話(月并)秋の子(夜牛)深山の花、フクスケ(桃太郎)君の新宗旨(夢亂)俳評(鳴雪)俳句入門(石鼎)句集句界消息等(三十錢、東京牛込市谷河原町一ノ二ホトトギス發行所)

▲朝鮮及び滿州(八號) 編輯局より(釋尾旭邦)北支那より南支那へ(同)最近四十年間に於ける政變(小林法學士)朝鮮最近四十年間の財政狀態(小林法學博士)等論滿業の現在と其の將來(吉野)日米の關係と米國の態度(ヒマラヤ山人)世界戰の現在と其の將來 等…(二十五錢、京城旭町)

▲經濟資料(八) 二十五錢、東京有樂町東亞經濟調査局

▲フースヒー　五錢、東京芝區三田

▲習字と作文(八)　十錢、東京巣鴨坂町十八共社

▲詩林(七)　三十錢、東京神田區東紅梅町二詩林社

▲植東時報(六九)　十八錢、東京麹町區內幸町一ノ五植東時報社

▲食堂生(八)　十五錢、東京牛込區市谷谷町五十一石塚食堂所

▲新國民(八)　十五錢、東京神田區駿河臺袋町十六日本國民中學會

▲信仰之友(三三)　永生の道、豫讃の話、昔日の讃美歌作者クロスビー夫人、まさ子さんの夢、十年前に此福音を聞いたら、消祭の記、數勞、雜録、編輯室より(三錢、京城長谷川町一七共社)

▲海江(四の六)　雜詠(一券樓)募集句(稞碩子)三松一夕話(山口葉吉)刺戟と感銘(五十四氏)句評(六花)二碧樓、折紫)三昧句錄、各地俳況、句錄、消息雜報及び編輯後記、正價五十錢、東京上根岸八二の二九共社

讀者の領分

▲本日午前中の號外には米價三十九錢の丁目の或米屋に米買に參りました處が欠乏り四十二錢にて販賣致しましたが彼は不正な事で御座いませんでせうか當局の號は確乎と計りは惜しうれませんですな(本町一丁目に住む貧乏人)▲貧乏人と稱するお方よ貴方の言はれる旭町の米屋は白米小賣商組合員では無いのでせう。本社では安く賣る居所ち『白米小賣商組合』の値下を紹介した譯ですから、方々聞き合せて安い居でお買ひになつたらいいでせう近頃は一々値段が各居不同であるからよく各方を聞合せてお買ひなさる樣に本紙で度々注意して上げて居ます旭町の米屋の正不正の批判は此際讀者の判斷に任かせます、右の次第であるから本紙號外の確報で無いとのお考へは違つて居はしませんか(係)▲京城の市民諸兄へ謹告す本月十四日午前午後再度に亘り新町及び米倉町の某々米商方に於て惡陋共合して殺人的なる事をなし居たるを見る其言に曰く『內地の騷動の如きが平和なる此京城に起る可きはずなし故に米價値下の要なし』と恐る可し彼等が腹の手(一貧民)▲私は昨年四月長谷川町大廠舍前にて財布一個を拾ひました中に金十何圓と特殊品がありましたから早速警察に届け一方寄々落主を捜しましたが前の落主は今日まで有りません落した方は御本社迄お申出下さい現品は警察より受取りましたから何時でも御返致し升(太平通二ノ二九〇光非)▲私は警察及び製紙業の智識を一通り得たいと思ひ升が教へて下さる所はありませんでせうか尤も私は此の頃の事には全く初歩ですから貴重なる木欄にて御伺ひ申上げます(一少年生)

○海運依然閑散

近海航路は依然荷薄なれば[illegible]

徵發の代船に充つるもの、外商談は左の如し

殆ご皆無の有樣なり船腹の需要[illegible]

船名	噸數	期間	傭船料
[illegible]	[illegible]	九箇月	[illegible]

…を演出せし噸數は八日は小康狀態を呈して稍押し風潮を示すに至り…に向ひ中にも鶴印八九限は五圓六十八錢辨天印九十限は五圓六十八…しを移し俄然人氣墜落せし氣先▲大手筋の投物に利食筋の賣物…二十錢見當を往來するの商狀を呈したり蓋し此崩落は米價の低落を…方陸軍糧秣廠の小麥粉三萬貫餘の購買を發表せしに引續き需要も漸…[illegible]なれば此上の下押し

評判の御家庭美容料

ホンノリ色白くなる

レートフード

夏が涼しく美くしく暮せる

▼僅か一と瓶のレートフードで

完全に日焦けを防ぐ上にフードの强い成分こ他に無い新美容素はお肌の地合から變へてお肌をサラリこ滑かにし不思議な作用は自然にホンノリこ色を白く致しますから、夏の素化粧料こして隱化粧料こして實に天下一品、重寶な御家庭美容料です。

東京　平尾贊平

優等清酒

發賣元　永樂町二丁目　本莊酒店　電話六五四番　振替京城六二〇番

京夏洋服 (上下二枚 折襟詰襟 制服同値)　送料 鮮內二十四錢 外五十錢

ヘイヤクロス(品切)
斜子本リンネル 白及ビ薄茶
シユランク 白及ビ薄茶
白パナマ地
ラミー麻(白及ビ薄茶)
白綿リンネル

金拾七圓五拾錢也
金拾六圓五拾錢也
金拾六圓八拾錢也
金拾五圓八拾錢也
金拾參圓五拾錢也
金拾武圓五拾錢也
金拾武圓五拾錢也
金九圓武拾錢也
金七圓八拾錢也
金七圓參拾錢也
金六圓五拾錢也

▲地方は御申越次第見本帖と寸法取圖解送付可申候

京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

好評經濟的事務用 金ペン付　パインビジネスペン　定價壹圓九拾五錢

京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報代理部

▲にせ物あり御注意▼

りん病 請合藥

ばい毒 請合藥

京城南大門外停車場通　ドラッグ商會滿鮮本部
京城黃金町參丁目 電車通り　ドラッグ商會支店

汽船 釜山出帆廣告
◎第三琴平丸　元山、西湖、新浦、城津、清津行　七月　日後四時出
◎第三琴平丸　門司、宇品、神戸、大阪行　七月　日後四時出
◎天須奈丸 眞佐丸　敦賀原 博多行　七月四日午後十時出
釜山港埋立新町本船取扱店　大池回漕部

河共同汽船仁川出帆
波大連直行(關東都督府命令船)
共同丸　八月十六日前入港 八月十七日後出港
朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱大連にて清島行定期船接續
本町四丁目(電話一七三番)河波共同汽船株式會社
仁川代理店　本町(電話二四七番)野口商會
元山代理店　田口回漕部
京城取次店　南大門(電話二七六〇、八二)河村運送店

日本郵船仁川出帆
◎大連、天津牛莊行
相模丸　九月　日　正午出帆
酒田丸　八月廿八日正午出帆
×高砂丸
仁川海岸町一丁目(電話十番)堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、大阪行
第一大湖丸　八月十四日後四時出
第二大湖丸　八月二十日後四時出
君が代丸　八月廿三日後四時出
大有丸　八月廿六日後四時出
秀吉丸　八月十九日後四時出
仁川海岸通三丁目(電話五九番)高杉回漕部

朝鮮郵船出帆廣告
天候船繰等ノ都合ニ依リ發著日時ヲ變更スル場合アリ之ニ付詳細ハ本社又ハ各地支店出張所代理店取扱店ニツキ御承合被下度シ
敦賀行 淸津發 城津 元山經由
平壤丸　八月十五日 淸津 八月十八日 元山發
◎浦汐行 大阪發門司釜山元山城津經由

越後丸　八月卅一日 釜山發 九月二日 元山發
◎雄基行 關門發釜山各港經由 江原道寄港セズ
雄基丸　八月廿三日 釜山發 八月廿六日 元山發
成鏡丸　八月廿八日 釜山發 九月一日 元山發
◎元山雄基線 元山起點各港經由往復
咸城丸　八月十四日 元山發
◎大阪行 浦汐發清津城津元山釜山關門神戸經由
越後丸　八月廿一日 元山發 八月廿三日 釜山
◎金剛山遊覽便 元山發長箭石亭經由 長箭行 月六回但自六月至十月五ケ月間
穩城丸　八月十八日 元山發
◎濟州島行 釜山發浦項及各港經由
永德丸　八月二十日 釜山發
◎釜山浦項線 釜山發長生浦 方魚津 九龍浦經由
江陵丸 襄陽丸　每日 釜山浦港發
◎濟州島行 東廻ハ所安島經由 西廻ハ島嶼經由
西廻 公州丸 八月十九日
東廻 公州丸 八月廿三日 木浦發
◎濟州島行 釜山長承浦麗水巨文島經由
昌平丸　八月十五日 釜山發
◎釜山麗水線
海州丸 巨濟丸 統營丸　每日 麗水 釜山發
◎木浦麗水線 麗水ニテ釜山行接續
順天丸　八月十九日 木浦發 (以下三日目毎ニ木浦發)
◎多島海行 木浦發多島海各島行
慶資丸　八月廿一日 木浦發
◎木浦行 仁川發各地經由
金海丸　八月廿三日 仁川發
◎海州行 仁川發江華島喬桐島經由
新江丸 南陽丸　每日一回 仁川海州發
◎鎮南浦行 仁川發各港經由
晉州丸　八月十八日 仁川發
◎青島行 仁川發各港經由
江原丸　八月廿五日頃 仁川發
朝鮮鐵道及社外船ト荷客連絡運送ノ便有
本社 京城南大門通 電話(一九五二、二二三三)
釜山港 佐藤町　元山港 海岸通　仁川港 代理店　木浦港 代理店　京城 南大門驛前
取扱店 元山 出張所　山口 回漕部　堀 回漕部　松原運送店 (電話二七〇番)
其他各寄港地に荷客取扱店あり

大阪商船汽船出帆
神戸、大阪行(仁川出帆)
△日清丸　八月廿一日 後五時出
群山大阪行
×安東丸　月　日 正午出
淸津行(元山出帆)
◎安平丸　八月二十日 後十二時
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
◎宮島丸　八月十四日 後九時出
上海、北蘇、打狗行(大連出帆)
◎湖北丸　八月十二日 前六時出
◎基隆丸　八月廿七日 後六時出
內地各港出帆上記航路
歐南濠 洲行 一年四回 北米行 每月 一回 米行 一年 四回 南洋行 每月 一回 濠洲行 毎月 一回
御注意
◎外航航路ハ朝鮮ノ取扱ヲ爲シ又南洋航路ハ一切以テ連絡取扱ハ京城支店取扱所ニテ一切御取扱致シ候
大阪商船株式會社仁川支店 電話二二番 電話五五〇番
京城府內 切符發賣所 京城通運會社支店 大仁川案內所 京城本町一丁目 仁川港町 電話七〇八番 電話二六一番 慶田組支店 電話四七二番